



介護職員

介護職員を対象とした調査結果の概要

1. 回収票および有効票

762名から回答が得られた。(回収率44.0%)

記述統計には、回収された762名分の調査票のうち、各調査項目に欠損値のないものを用いた。

2. 集計結果

1) 対象者762名の属性

(1) 性別

性別は男性193名(25.3%)、女性563名(73.9%)、その他6名(0.8%)であった。

(2) 年齢

年齢区分は、10歳代が4名(0.5%)、20歳代が106名(13.9%)、30歳代が143名(18.8%)、40歳代が186名(24.4%)、50歳代が164名(21.5%)、60歳代が102名(13.4%)、70歳代が19名(2.5%)、無回答が38名(5.0%)であった。

40歳代と50歳代で約半数を占めた。60歳代が1割以上を占め、定年後に再雇用あるいは転職等により介護福祉職に従事している状況がうかがえた。70歳代も割合は少ないものの勤務している実態であった。

2) 勤務状況

(1) 勤務している事業所

勤務している事業所の内訳は、介護老人福祉施設が134名(17.6%)、通所介護事業所が282名(37.0%)、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)が176名(23.1%)、障害者支援施設が79名(10.4%)、障害福祉サービスを行う事業所が73名(9.6%)、その他が15名(2.0%)、無回答が3名(0.4%)であった。

(2) 経営主体

経営主体の内訳は、社会福祉法人が289名(37.9%)、営利法人(株式会社・有限会社等)が303名(39.8%)等であり、両者で約8割を占めた。

(3) 雇用形態

雇用形態は、正規職員(正規雇用)が488名(64.0%)、パート・アルバイト(非正規の直接雇用)が199名(26.1%)等であった。

(4) 通勤時間

通勤時間は、5分以内が93名(12.2%)、6～10分以内が144名(18.9%)、11～15分以内が134名(17.6%)、16～20分以内が105名(13.8%)、21～25分以内が38名(5.0%)、26～30分以内が120名(15.7%)であった。30分以内の通勤時間との回答が83%を占めた。

3) 健康や幸福の主観的評価

(1) 健康の状況

健康度自己評価の内訳は、「非常に健康だと思う」が 114 名(15.0%),「まあ健康なほうだと思う」が 468 名(61.4%),「あまり健康ではないと思う」が 151 名(19.8%),「健康ではないと思う」が 25 名(3.3%), 無回答が 4 名(0.5%)であり、おおむね健康と認識している現状であった。

(2) 幸福の程度

「あなたはどの程度幸せと感じていますか」との質問に対し、「非常にそう思う」が 119 名(15.6%),「ある程度そう思う」が 502 名(65.9%),「あまりそう思わない」が 120 名(15.7%),「まったくそう思わない」が 17 名(2.2%), 無回答が 4 名(0.5%)であり、おおむね幸福と認識していた。ただし、幸福ではないと感じている介護職員が 2 割弱存在することは看過できない現状である。

4) 岡山県の介護職員の仕事に対する思いの実態

「仕事に対する思い」は、産業社会学などにおいて重要な概念として扱われてきた。それは、対人援助職とは利用者との人間関係を基礎に行われる業務であるがゆえに、職員の退職動向が利用者に影響を及ぼすからである。また、心理社会学・経済学の領域において、仕事ストレスの観点から最終的な帰結として、仕事満足度や仕事継続意向ないし離職意向といった概念を用い検討が進められてきた。ヒューマンサービス従事者における職務ストレスは、効率や生産性との関係以上に利用者へ及ぼす影響が懸念されている。とりわけ離職については、実際の離職行動に至らずともその意向を抱くことで、ケアへの無力感、労働意欲の低下が促進され、サービス利用者の生活の質に悪影響を及ぼすことが指摘されてきた。

そこで、福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげる基礎資料を収集すべく、(1)仕事に対するやりがい、(2)心に残る経験や出来事、(3)仕事満足度、(4)仕事継続意向、(5)離職を思いとどまることができたエピソード、(6)転職の経験、(7)現在の法人への入職経路、(8)現在の法人を選んだ理由、(9)離職した介護職員に対する再就職支援についての希望などを調査した。

(1) 仕事に対するやりがい

仕事に対するやりがいに関しては、「やりがいと感じていることをお聞かせください」と質問し、自由記述を求めた。結果、514 名から回答が得られた。

自由記述の回答から仕事のやりがいに関する概念を抽出するため、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。テキストマイニングの解析には、KH coder ver.3(樋口耕一 2020)を使用した。

まず、分析を行うための事前準備として分析に用いる語を精査した。分析に用いる語は、できるだけ生の声を反映することをねらいに、語の処理を最小限に留めた。具体的には、自由記述を形態素(意味を持つ最小限の語)に分解し、揺れのある語、不適切に切断されている語、分析に適さない語を確認した。

同意語として処理した語を以下に示す。

スタッフ→職員, レク→レクリエーション, お話→話, うれし→嬉し

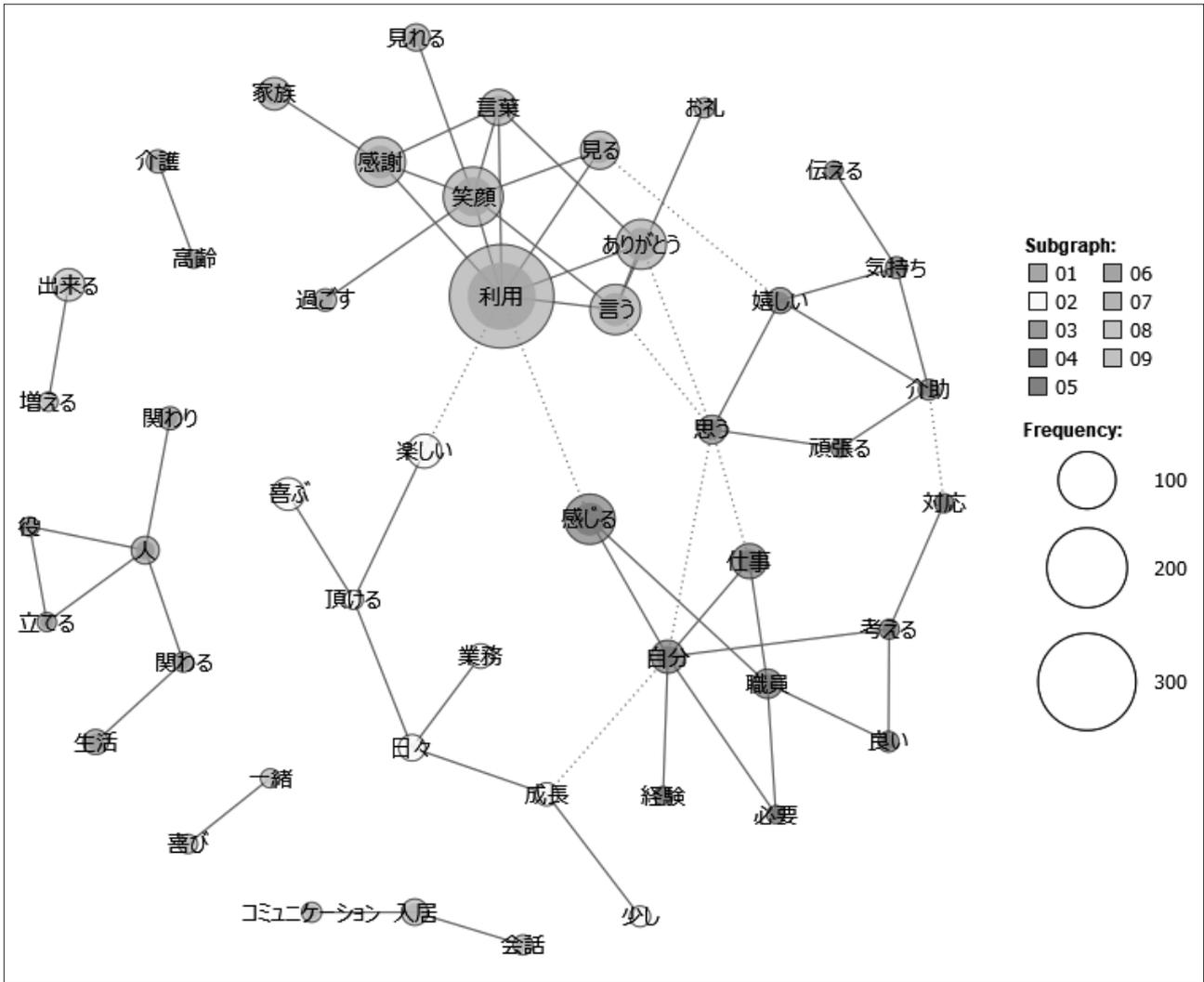
語の処理後、分析に用いる語は、総抽出語数 8,227(2,974)、異なり語数 817(633)であった。

次に、仕事のやりがいに関する全体的な傾向を知るため、上位 150 の頻出語を抽出した。

150 の頻出語 (介護職員：仕事のやりがい)

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	利用	335	51	満足	8	101	勤務	4
2	笑顔	108	52	お客様	7	102	元気	4
3	感じる	76	53	スキル	7	103	現在	4
4	言う	76	54	行う	7	104	合う	4
5	ありがとう	75	55	作業	7	105	時間	4
6	感謝	75	56	笑う	7	106	取り組む	4
7	見る	42	57	職場	7	107	障害	4
8	言葉	37	58	サービス	6	108	上がる	4
9	仕事	35	59	レクリエーション	6	109	上司	4
10	楽しい	33	60	安心	6	110	上手い	4
11	自分	31	61	活動	6	111	色々	4
12	家族	30	62	関係	6	112	身	4
13	喜ぶ	30	63	顔	6	113	提供	4
14	出来る	30	64	今	6	114	働く	4
15	職員	24	65	姿	6	115	日常	4
16	思う	23	66	思える	6	116	アップ	3
17	人	21	67	持つ	6	117	チーム	3
18	見れる	20	68	信頼	6	118	チームワーク	3
19	日々	19	69	達成	6	119	デイ	3
20	入居	19	70	聞く	6	120	デイサービス	3
21	嬉しい	18	71	変化	6	121	意欲	3
22	支援	18	72	本人	6	122	維持	3
23	生活	17	73	来る	6	123	運動	3
24	業務	16	74	楽しむ	5	124	改善	3
25	介護	14	75	環境	5	125	皆様	3
26	関わり	14	76	管理	5	126	活かす	3
27	成長	14	77	帰る	5	127	寄り添う	3
28	過ごす	13	78	協力	5	128	携わる	3
29	気持ち	12	79	結果	5	129	御礼	3
30	介助	11	80	向上	5	130	行える	3
31	少し	11	81	自身	5	131	今日	3
32	良い	11	82	実行	5	132	作る	3
33	お礼	10	83	食事	5	133	指導	3
34	コミュニケーション	10	84	心	5	134	事	3
35	会話	10	85	他	5	135	事業	3
36	関わる	10	86	多い	5	136	事故	3
37	考える	10	87	知識	5	137	実感	3
38	声	10	88	直接	5	138	終わる	3
39	一緒	9	89	認知	5	139	出る	3
40	喜び	9	90	表情	5	140	新人	3
41	増える	9	91	役に立つ	5	141	身体	3
42	対応	9	92	様子	5	142	人生	3
43	頂ける	9	93	頼る	5	143	接す	3
44	役	9	94	話	5	144	相手	3
45	立てる	9	95	ケア	4	145	相談	3
46	頑張る	8	96	一言	4	146	体制	3
47	経験	8	97	覚える	4	147	頂く	3
48	高齢	8	98	学ぶ	4	148	内容	3
49	伝える	8	99	楽しみ	4	149	入浴	3
50	必要	8	100	寄り添える	4	150	発見	3

続いて、仕事のやりがいに関する概念を抽出するため、頻出語を用いて共起ネットワークを作成した（最小出現数 8, Jaccard 上位 60, modularity）。結果、9 のクラスターに分類された。



共起ネットワーク（介護職員：仕事のやりがい）

最後に、9のクラスターを構成する語から、仕事のやりがいに関する概念を抽出した。

クラスターを構成する語	抽出された概念
利用, 笑顔, 見れる, 過ごす, 見る, 家族, 感謝, 言葉, ありがとう, お礼, 言う	利用者で過ごすなかで笑顔が見られるとき 利用者や家族からの感謝の言葉
介助, 頑張る, 思う, 嬉しい, 気持ち, 伝える	介助の際, 利用者の喜ぶ様子が嬉しくて頑張りたいという気持ちになるとき
日々, 業務, 成長, 少し, 喜ぶ, 楽しい, 頂ける	日々の業務を無事に遂行できたとき 利用者が喜ぶ姿や楽しむ姿がみられるとき 仕事ができるようになった自分の成長を感じる時
出来る, 増える	できることが増えていく利用者の姿
一緒, 喜び	利用者と一緒に活動できる喜びを感じる時
自分, 経験, 仕事, 感じる, 職員, 必要, 良い, 対応, 考える	自分の経験が仕事に活かされていると感じる時 他の職員に頼りにされたり, 必要とされていると感じる時 職員と協力して良いケアを考えること
会話, 入居, コミュニケーション	入居者との会話などコミュニケーションを図って関係が深まること
関わる, 人, 関わり, 役立てる, 生活	日常生活の関わりからその人の役に立てていると感じること
介護, 高齢	高齢者の介護から気づきや学びが得られたとき

具体的な記述の一例を以下に示す。

- ・利用者との距離が近く、楽しい時間を一緒に過ごせている事。
- ・利用者と一緒に考えて、できる方法を見つけ作品の完成を喜びあえる。
- ・「ありがとう」「助かる」など言って頂く事がうれしいしこんな自分でも役に立てるんだと思う事。
- ・他の職員の方から頼りにされて仕事を任せてくれる。
- ・難しかった介助が出来るようになり利用者様に近づけた気持ちになれる事。
- ・介護職の仕事内容をしっかり学べる事。
- ・事故がなく夜勤の仕事を終えた朝。
- ・利用者さんの成長を感じたとき。利用者さんの夢が叶ったとき。
- ・必要とされている職種に就いていること。
- ・上司、職員に恵まれて、頑張ろうという気持ちになる。
- ・何でも話せる職場でよい方向へとみんなが取りくんでいる。人間関係が良いのでそこがやりがいになっている。
- ・仕事に追われ業務をこなす事で精一杯。心に余裕がないのでやりがいを見い出せないが仕事を理解してくれる人がいると嬉しく思う。
- ・体制を整えることができれば、今以上にやりがいを持って、仕事に取り組めると感じています。
- ・最近はやりがいを感じない。
- ・1つのミスで全否定されるので、不安しかない。家族だけでなく他のケアマネからのプレッシャーも恐怖である。

仕事のやりがいに関する記述には、「ありがとう」、「笑顔」など利用者からのフィードバックが最も多く占めていた。また、利用者との関わりやコミュニケーションを通じて関係性が深まることを実感し、やりがいとなっていることが示された。さらに、自分の職務が利用者の生活に役立てている、利用者のできるが増えていくことを実感し、やりがいとなっていることが示された。他方、介護職員の自由記述では、他の職員に仕事を頼まれるなど、できる仕事が増えていくことが自分自身に対する成長として、仕事に対するやりがいにつながっていることが示された。仕事のやりがいを感じる介護職員は、一人ではなく、チームの一員として協力してケアに取り組める職場環境が背景にあることが示された。

一方で、仕事のやりがいを感じない介護職員は、業務に追われて心に余裕がないことや人間関係におけるストレスなどが一因となっていることから、職場の体制、組織風土における課題が示された。

(2) 心に残る経験や出来事

心に残る経験や出来事に関しては、「これまでの介護福祉の仕事を振り返り、心に残る経験や出来事（感動した、嬉しかった、辛かったなど）とその理由を教えてください」と質問し、自由記述を求めた。結果、504名から回答が得られた。

自由記述の回答から心に残る経験や出来事に関する概念を抽出するため、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。テキストマイニングの解析には、KH coder ver.3 (樋口耕一 2020) を使用した。

まず、分析を行うための事前準備として分析に用いる語を精査した。分析に用いる語は、できるだけ生の声を反映することをねらいに、語の処理は最小限に留めた。具体的には、自由記述を形態素（意味を持つ最小限の語）に分解し、揺れのある語、不適切に切断されている語、分析に適さない語を確認した。

同意語として処理した語を以下に示す。

スタッフ→職員, レク→レクリエーション, お話→話, うれし→嬉し, つら→辛
--

不適切に切断されている語を確認し、強制抽出語として「パワハラ」を指定した。

分析に適さない語を確認し、使用しない語として「心」「残る」を指定した。

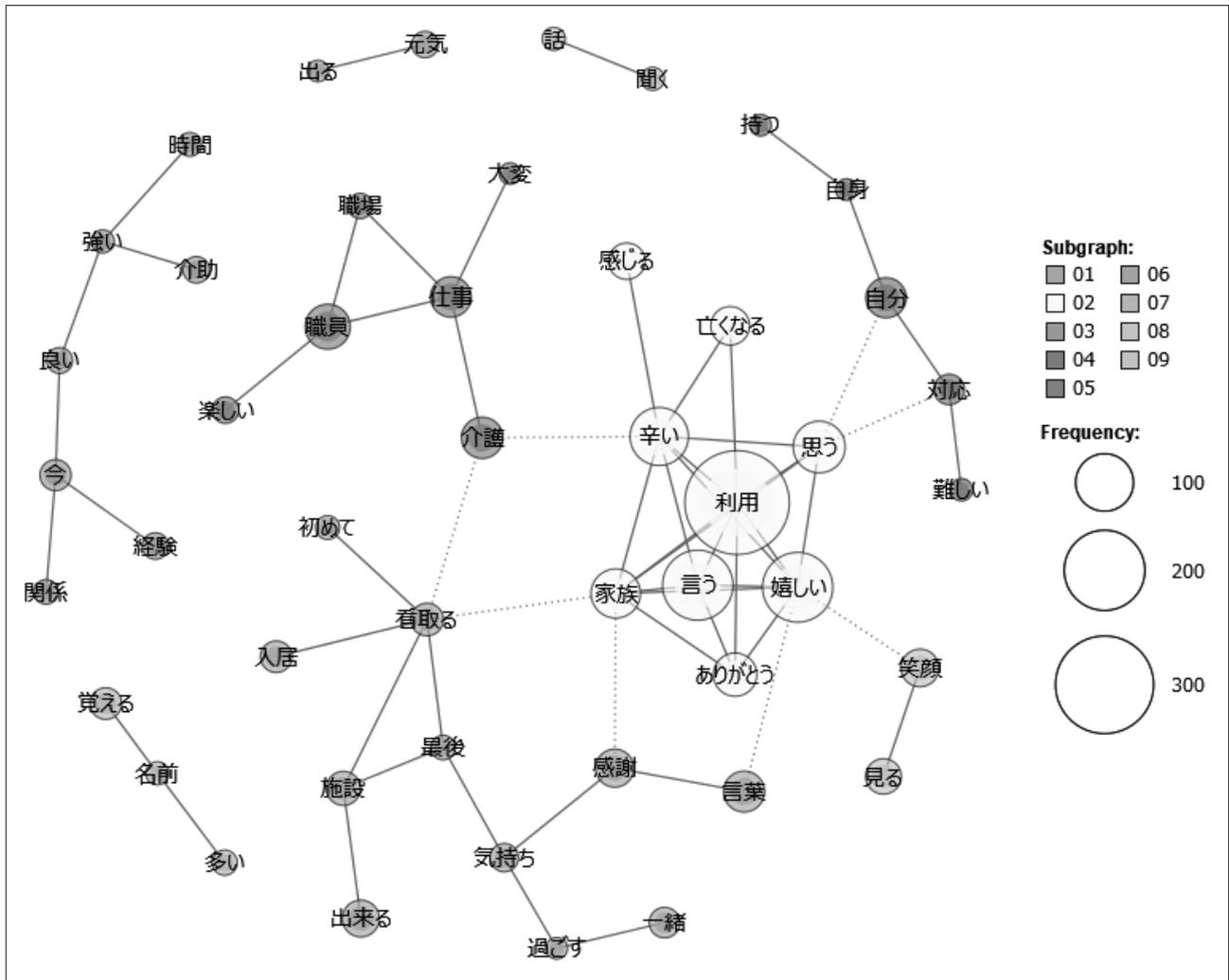
語の処理後、分析に用いる語は、総抽出語数 17,177(6,358)、異なり語数 1,820(1,503)であった。

次に、心に残る経験や出来事に関する全体的な傾向を知るため、上位 150 の頻出語を抽出した。

150 の頻出語（介護職員：心に残る経験・出来事）

順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数	順位	抽出語	出現回数
1	利用	341	51	少し	13	101	希望	8
2	言う	151	52	難しい	13	102	急	8
3	嬉しい	150	53	過ごす	12	103	考える	8
4	辛い	102	54	顔	12	104	合う	8
5	思う	80	55	居る	12	105	困る	8
6	家族	72	56	教える	12	106	作業	8
7	職員	60	57	持つ	12	107	参加	8
8	ありがとう	55	58	自身	12	108	精神	8
9	介護	50	59	出る	12	109	体調	8
10	言葉	49	60	大変	12	110	頂く	8
11	仕事	48	61	一番	11	111	入る	8
12	自分	47	62	頑張る	11	112	別れ	8
13	亡くなる	43	63	拒否	11	113	忘れる	8
14	感謝	42	64	上司	11	114	ケア	7
15	笑顔	41	65	信頼	11	115	会社	7
16	出来る	39	66	前	11	116	開く	7
17	感じる	38	67	担当	11	117	帰る	7
18	見る	36	68	入院	11	118	辞める	7
19	施設	33	69	入浴	11	119	手	7
20	看取る	30	70	毎日	11	120	出勤	7
21	覚える	28	71	来る	11	121	書く	7
22	入居	28	72	関わる	10	122	少ない	7
23	今	27	73	事	10	123	状態	7
24	支援	27	74	事故	10	124	身体	7
25	一緒	26	75	伝える	10	125	成長	7
26	人	26	76	日々	10	126	生活	7
27	対応	26	77	普段	10	127	続ける	7
28	気持ち	22	78	涙	10	128	丁寧	7
29	介助	19	79	外出	9	129	病気	7
30	楽しい	19	80	業務	9	130	復帰	7
31	経験	19	81	勤務	9	131	分かる	7
32	元気	19	82	最期	9	132	暴言	7
33	良い	18	83	始める	9	133	暴力	7
34	職場	17	84	思い	9	134	夜勤	7
35	多い	17	85	死	9	135	様子	7
36	関係	16	86	人間	9	136	話す	7
37	最後	16	87	先輩	9	137	お客様	6
38	感動	15	88	送迎	9	138	お礼	6
39	時間	15	89	増える	9	139	たくさん	6
40	初めて	15	90	他	9	140	サービス	6
41	頂ける	15	91	内容	9	141	ミス	6
42	喜ぶ	14	92	入所	9	142	以前	6
43	強い	14	93	悲しい	9	143	皆さん	6
44	行く	14	94	優しい	9	144	気	6
45	姿	14	95	理解	9	145	泣く	6
46	声	14	96	コミュニケーション	8	146	見せる	6
47	認知	14	97	コロナ	8	147	呼ぶ	6
48	聞く	14	98	デイ	8	148	行事	6
49	名前	14	99	下	8	149	最初	6
50	話	14	100	活動	8	150	仕方	6

続いて、心に残る経験・出来事に関する概念を抽出するため、頻出語を用いて上位 60 の共起ネットワークを作成した（最小限出現数 12, Jaccard 上位 60, modularity）。結果、9 のクラスターに分類された。



共起ネットワーク（介護職員：心に残る経験・出来事）

最後に、9のクラスターを構成する語から、心に残る経験・出来事に関する概念を抽出した。

クラスターを構成する語	抽出された概念
利用, 家族, ありがとう, 感謝, 言う, 言葉, 嬉しい, 思う, 亡くなる, 辛い, 感じる	利用者や家族から「ありがとう」と言われたこと 担当の利用者が亡くなったこと
笑顔, 見る	利用者が笑顔を見せてくれたこと
初めて, 看取る, 最後, 入居, 施設, 出来る, 感謝, 言葉, 気持ち, 一緒, 過ごす	初めて施設入居者を看取ることができたこと 最後まで一緒に過ごすことができたこと 看取り後, 家族から感謝の言葉と言われたこと
自分, 自身, 持つ, 対応, 難しい	自分の知識やスキルでは対応が難しかったケース
強い, 介助, 良い, 時間, 今, 関係, 経験	利用者に介護を強く拒否されたこと
話, 聞く	コミュニケーションを通じて関係性が深まったこと
元気, 出る	利用者に「元気がでる」と言われたこと
職員, 楽しい, 仕事, 介護, 職場, 大変	前の職場では介護の仕事や職員の関係性が大変だったこと
名前, 多い, 覚える	利用者が自分の名前を覚えてくれたこと

具体的な記述の一例を以下に示す。

- ・初めて名前を覚えて頂いた時のことは心に残っています。
- ・初めての介護で仲良くなり利用者様と心と心がつながった時。
- ・初めて看取りを経験した時は辛かった。
- ・歩けない(歩きにくい)方が歩けるようになって感動!
- ・自分に対して、介助を強く拒否していた利用者さんの対応に困っていたが、先輩職員さん達がしっかり助けてくれて、今ではその利用者さんと良い関係を築くことができた。
- ・意思疎通のできない利用者様をベッドに横にしてあげた時「ありがとう」と言われた。
- ・清拭中に息を引き取った方がいる。・・・(中略)・・・娘様からの「あなただから良かったんだと思う。ありがとう」の一言に救われ、現在もその言葉を糧に福祉職を続けることができています。
- ・利用者に信頼して頂いていると感じ、入浴、食介、更衣を拒否なくできた時、行えた時。
- ・コロナの発病により、急な病状の悪化で命を落とされた事が辛く思いました。
- ・児童の時から見てきている障害者が、一般就労でき、頑張っている姿を見ると嬉しい。
- ・今までできなかったことが、支援を通してできるようになっていったこと。
- ・認知症の方と接する事が初めてで、不穏や妄想、色々な症状に対しての対応が分からなかった頃、・・・(中略)・・・傾聴の大切さを学び、今も継続している。
- ・心ない言葉を受けたり、パワハラを受けたりしたことは、辛かったです。
- ・未経験からなので技術不足を感じる時は辛い。
- ・資格がない部分で他の職員からのイジメがあり全員の職員から仕事に関しての無視がありました。その職場は退職しました。
- ・就職後間もなく、施設でコロナが出てしまい、業務を何も知らない状況で感染予防対策での介護業務となってしまったときは辛かった。

心に残る経験や出来事は、介護福祉職に就いて初めての職務経験や担当利用者など特定の利用者と親密な関係を結ぶ経験や出来事が多かった。また、高齢者介護では、みとりケアや認知症ケアと関連した経験、コロナ禍での出来事が、障害児者支援では、利用者の成長に関連した経験や出来事が多かった。心に残る経験や出来事は、全体的にポジティブにとらえる経験や出来事が多いが、ネガティブな経験や出来事を克服し前向きな気持ちを取り戻している記述もあり、就労継続の意向との関連が示された。

一方で、対応することが難しいと感じたケースや職務に慣れるまでのフォロー体制がうかがえる記述があった。介護福祉士など資格を有していない介護職員は、職場の人間関係に加えて、専門知識・技術を習得する機会が十分整えられていない職場環境下においてネガティブな経験や出来事が生じていることが示された。

(3) 仕事満足度

仕事満足度に関して、「あなたは、現在の仕事に満足していますか」と質問し、「非常に満足：4点」「満足：3点」「普通：2点」「少し不満：1点」「まったく不満：0点」の5件法で尋ねた。得点が高いほど、仕事満足度が高くなるよう得点化を行った。

有効回答者は750名であった。「非常に満足」あるいは「満足」と回答したものは3割強であった。一方で、「少し不満」あるいは「まったく不満」と回答したものは2割にとどまり、「普通」が半数近くを占めた。介護職員が現在の仕事に対し前向きに捉えていることが観察された。平均得点を算出した結果、4点満点で平均2.11点(標準偏差0.90点)であった。

(4) 仕事継続意向

仕事継続意向に関して、「あなたは介護福祉職を続けようと思いますか」と質問し、「強くそう思う：2点」「そう思う：1点」「あまり思わない：0点」の3件法で尋ねた。得点が高いほど、仕事継続意向が高くなるよう得点化を行った。

有効回答者は732名であった。「強くそう思う」と回答したものは約1割であった。一方で、「あまり思わない」と回答したものは23%と1/4程度を占めた。平均得点を算出した結果、2点満点で平均0.86点(標準偏差0.58点)であった。

(5) 離職を思いとどまることができたエピソード

離職を思いとどまることができたエピソードについて、誰から・どんな・なぜ等について尋ねた。自由記述から340件の回答があり、内容を以下の7つのカテゴリに分類した。介護職員が一度は離職を考えたものの、最終的に仕事を続ける決断をした理由は多岐に渡った。

①利用者や家族からの感謝・励まし(134件)

多くの介護職員が、利用者やその家族からの感謝や励ましの言葉によって、離職を思いとどまっていた。「ありがとう」「あなたがいると安心する」「頼りにしている」といった言葉をかけられることで、自分の仕事が誰かの役に立っていることを実感し、働き続ける決意をしたケースが多く見られた。

②職場の人間関係・同僚・上司からの励まし(102件)

職場の同僚や上司からのサポートが、離職を思い止まる大きな要因となっていた。特に、仕事の悩み

を共有し合える仲間や相談に乗ってくれる上司・先輩の存在が重要であり、「あなたが必要だ」「一緒に頑張ろう」といった言葉をかけられることで、続ける意欲が湧いたという意見が多く見られた。

③家族の支え・経済的な理由(64件)

家族の励ましや経済的な事情も、離職を踏みとどまる大きな理由の一つであった。家族から「あなたに合っている仕事だから続けたほうがいい」「これからの時代に必要な仕事だよ」と言われたり、子どものために働き続けることを決意したケースが多数見られた。また、単純に生活費を稼ぐために辞めることができなかったという経済的な要因も含まれていた。

④自分の成長や仕事への適性(48件)

介護職を続けることで自身の成長を実感したり、「この仕事が自分に合っている」と感じることで、離職を考えながらも思いとどまった人も多くいた。特に、「自分が成長できる」「この仕事しかない」と感じるものが、続ける動機となっていた。

⑤職場環境・制度・シフトの問題(29件)

職場の環境や制度が改善されたことが、離職を思いとどまる理由となる場合もあった。例えば、勤務時間の調整ができたこと、管理者や上司が環境改善に努めてくれたことなどが挙げられた。また、シフトの関係で辞めづらいと感じるケースもあった。

⑥特に離職を考えたことがない(97件)

一定数の介護職員は、そもそも離職を考えたことがないと回答していた。職場の環境が良好であり、特に不満がないため離職を考えたことがない、あるいはまだ入職して日が浅いため離職を考えるに至らないというケースが含まれていた。

⑦離職を思いとどまることなく辞めた(7件)

一方で、離職を考えた結果、思いとどまることなく退職した人もいた。人間関係や労働環境の問題、職場の負担の大きさなどにより、最終的に介護の仕事の続けることができなかったという意見も見られた。

特徴的な記述一例を以下に示す。

- ・友人や家族に、「よく頑張っている」と言われた事。他の職員に相談ができる人がいる。
- ・周りの職員と気兼ねなく話せるから仕事が続けられている。
- ・理不尽と思う指導を受け、数日続くことがあったが、現場を見ていた先輩スタッフの方々が、励ましや共感の言葉をかけてくれた。
- ・同僚から「この仕事はあなたの天職だ」と言われた事。
- ・毎日変化があるところや職場の仲間に助けられている実感があり、他の職場では感じられない部分が多いこと
- ・辞めようと何度も思ったけど、何となくやり続けたいと思えたので…。
- ・子供が学校に行けなくなった時、職場に迷惑がかかるので相談したら、社長から午後からの勤務で

もいいと言ってくださり、子供も私もとても助かりました。

- ・他の施設で働いている友達の話の聞くと、自分の職場はまだ恵まれていると思った。
- ・他の職員の負担が増えてしまうのが分かっている。
- ・まだ離職を考えていませんが、チームの仲間が普段からサポートしてくれているので大丈夫だと思います。
- ・保育士から介護士になりました。この職場の良し悪しは、別として離職しようと思った事はありません。
- ・自分が好きな仕事なので、離職したいと思わないです。
- ・今まで離職を考えたことはありません。

今回の分類を通じて、介護職の離職を思いとどまる理由の多くが、「利用者や家族からの感謝」「職場の人間関係」「家族の支え」であることが明らかになった。特に、感謝の言葉や仲間との支え合いは、介護職員の離職を思いとどまる大きな要因となっていた。一方で、職場環境の問題や経済的な事情も関係しており、離職を防ぐためには、働きやすい環境づくりや精神的サポートが重要であることが示唆された。

(6) 転職の経験

調査票を、転職経験がある介護職員を優先して配布したため、転職経験が0回の者は約3割、1回が2割強、2回が15%程度、3~5回が25%程度、それ以上との回答も5%程度見られた。

(7) 現在の法人への入職経路

現在の法人への入職経路(主なものを選択)は721名から回答があり、ハローワークが約35%、前職等の職場の職員や友人の紹介が約14%、求人・求職のWEBサイトが約7%であった。

(8) 現在の法人を選んだ理由

現在の法人を選んだ理由(主なものを3つまで選択)は723名から回答があり、通勤条件がよかったが最も多く約17%、勤務形態がよかったが約16%、仕事の内容自体にやりがいを感じたが約15%、家族や友人の勧めが約7%であった。

(9) 離職して再就職する場合の制度等のしくみ

離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思うかについて尋ねた。

354件の自由記述の回答について、8つの枠組みを設定し、近い自由記述の回答人数を定量的に集計した。

お試し就職(3日程度~3か月)制度76件、処遇面(給与・手当、福利厚生等)の改善・充実62件、事前の体験や見学ができる仕組み50件、人間関係や職場内のコミュニケーションの良さ43件、教育制度や職員育成の仕組み31件、有給休暇など休暇が取りやすい環境整備19件、人員の配置や責任の明確化など人員体制整備8件、子育て中でも柔軟に働ける勤務体制等の整備5件等であった。

離職して再就職する場合に必要な仕組みや制度では、職場の見学や体験、また、お試し就職など、実際に職場の雰囲気や業務内容を知れる機会の回答が多かった。次いで、給与や福利厚生などの処遇面の充実が2割弱、人間関係や職場内のコミュニケーションの良さの回答が1割強であった。

354件の自由記述の回答を定性的に分析した結果、以下のようなカテゴリが抽出された。

①職場環境の改善

介護職員が再就職を検討する上で、職場の環境整備が重要であるとの意見が多く寄せられた。

- ・人間関係の良好さ

職員同士が円滑なコミュニケーションを取れること、上司が適切にサポートすることが求められています。「誰にでも相談できる環境」や「パワハラ対策の強化」が必要との声もあった。

- ・教育・研修制度の充実

新人教育や現場のスキル習得がスムーズにできるよう、「教育係をつける」「職場見学や体験就職を設ける」などの意見があった。

- ・働きやすいシフト制度の導入

「急な休みにも対応できる仕組み」「勤務時間の柔軟性」「夜勤の負担軽減」などが求められていた。

②賃金・待遇の向上

賃金や待遇面の改善が再就職の重要な要素として挙げられた。

- ・給与の向上

介護職は業務負担が大きい一方で給与が低いという問題が指摘されており、「基本給のアップ」「賞与や昇給の充実」「サービス残業の廃止」などの希望が多く見られた。

- ・福利厚生の充実

「退職金制度」「住宅手当」「家賃補助」などの充実を求める声が多くあった。

- ・有給休暇の取得促進

「10分単位で有給取得可能な制度」「有給休暇を初日から付与」などの意見もあった。

③事前の職場見学・体験就職制度

再就職の際に、職場の雰囲気や業務内容を事前に確認できる制度が必要との声が多く上がった。

- ・お試し就職制度の導入

「1日～3か月間のお試し就職」「1週間のアルバイト体験」など、短期間働いてから本採用を決められる仕組みが求められていた。

- ・職場見学・体験入社 of 拡充

実際の職場環境を知るため、「職場見学の機会」「1週間程度の体験就職」「実際の業務を体験する研修の実施」が望まれていた。

④仕事の役割分担の明確化

業務の負担軽減と効率化のため、明確な役割分担を求める声もあった。

- ・「介護職員は介護業務に専念し、ナースは医療業務、掃除専門スタッフを配置する」

- ・「十分な人員配置で、無理のない業務量にする」
- ・「1人介助ではなく、2人介助を基本とする」

⑤仕事と家庭の両立支援

家庭と両立しながら働きやすい環境づくりが求められていた。

- ・産休・育休の取得促進
「事業所の規模に関わらず、産休・育休を取得しやすくする」
- ・子育て支援の充実
「職場内に託児所や学童保育を設ける」「子どもの行事に合わせて休めるようにする」
- ・介護と仕事の両立支援
「自身の親の介護と両立できる制度が必要」

⑥職場の透明性と情報公開

職場の実情を事前に行うことができる仕組みが求められていた。

- ・職員の口コミや離職率の公開
「職場の口コミ情報を公開する」「離職率を事前に明示する」
- ・給与や待遇の明確化
「就職時に手取り額や福利厚生の詳細を説明する」
- ・離職理由の共有
「過去の離職理由を会社が正直に公開する」

特徴的な記述一例を以下に示す。

- ・施設内もしくは法人内で同じ部署に在籍できる年数が決まっている。(例外あり)異動を行うことで循環を良くし古い考えに固執した考えを無くす。男女別トイレ。職員のプライバシーを守れる休憩スペースがある。
- ・会社のトップが作業所や働いている現場の現状をしっかりと把握し、一緒に取り組めること。
- ・賞与が多い・退職金がある・住宅補助(家賃)がある所。
- ・見学だけではその職場がわかりづらいので、お試し就職があれば離職する人も少なくなるのではないかと思う。
- ・インターンのような職場体験(人間関係・雰囲気などがわかるような)
- ・最初はアルバイトから始めて1ヶ月後に正社員になる。自分の希望を受け入れてもらえたらいいな。
- ・見学、面接時に施設スタッフと話しが出来る時間があればいいと思う。
(施設の実情を知る事が出来れば、就職してからの乖離が少ないと思う。)
- ・1分単位できちんと残業代が出るようなしくみ。子育て休みに協力的なしくみ。
- ・メリットだけでなく、デメリットな部分も教えて欲しい。人手不足でとにかく人手が欲しい為にメリットばかりを強調されるが、ここで就職した際のギャップが生まれる。

介護職員の再就職にあたり、以下のような要素が特に重要視されていた。

- 人間関係の良い職場環境(相談できる上司・同僚、パワハラ対策)

- b. 給与・待遇の改善（基本給アップ，賞与や退職金の充実）
- c. 1日～数か月のお試し就職・職場体験の導入（職場や職員の雰囲気，人間関係，環境，様子等を把握するために，今働いている職員とコミュニケーションがとれると安心）
- d. 業務負担の適正化（人員配置の見直し，役割分担の明確化）
- e. ワークライフバランスの確保（育児・介護支援，休暇の取りやすさ，働きやすい環境，福利厚生の実等）
- f. 職場情報の透明化（離職率や職員の口コミ公開，パートの賃金，もしくは最低賃金）

これらの改善策が進めば，離職率の低下や再就職のハードルが下がることが期待される。

介護職員の就労に関する意識調査 集計結果 【介護職員】

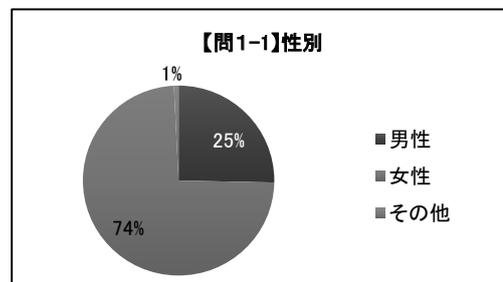
調査票送付事業所	1,733
調査対象者数	1,733
回答者数	762
回収率	44.0%

I. 回答者の基本属性

【問1-1】性別

n=762

	回答数	構成比
1 男性	193	25.3%
2 女性	563	73.9%
3 その他	6	0.8%
合計	762	100.0%

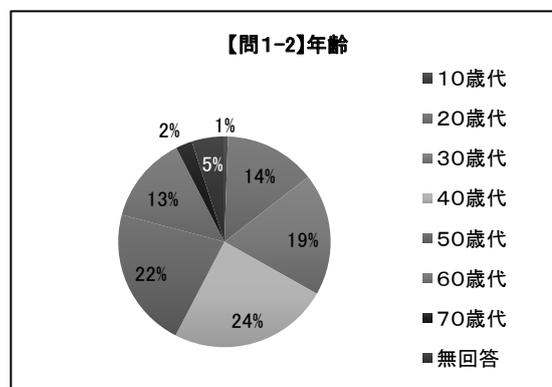


回答者の属性では、男性193名(25.3%)、女性563名(73.9%)で女性の割合が多数となっている。

【問1-2】年齢

n=762

	回答数	構成比
1 10歳代	4	0.5%
2 20歳代	106	13.9%
3 30歳代	143	18.8%
4 40歳代	186	24.4%
5 50歳代	164	21.5%
6 60歳代	102	13.4%
7 70歳代	19	2.5%
8 無回答	38	5.0%
合計	762	100.0%

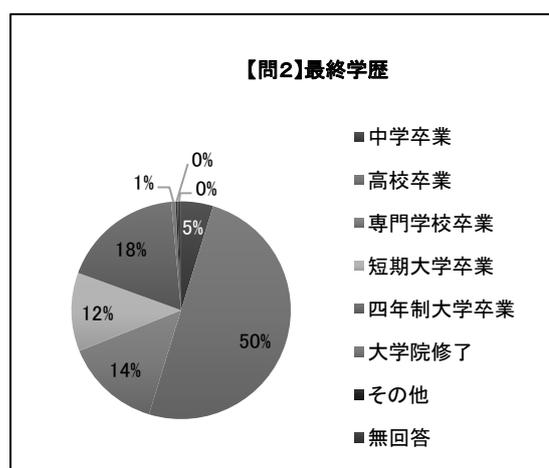


回答者の年齢については、40代が186名(24.4%)と最も多く、次いで50代が164名(21.5%)となっている。この両方で全体の約5割を占めている。3番目以下は、30代143名(18.8%)、20代106名(13.9%)、60代102名(13.4%)の順となっている。また、回答者の平均年齢は、43.66歳(標準偏差0.23歳)であった。

【問2】最終学歴(中途退学の場合は、その前の学歴)

n=762

	回答数	構成比
1 中学卒業	36	4.7%
2 高校卒業	381	50.0%
3 専門学校卒業	108	14.2%
4 短期大学卒業	89	11.7%
5 四年制大学卒業	137	18.0%
6 大学院修了	5	0.7%
7 その他	2	0.3%
8 無回答	4	0.5%
合計	762	100.0%



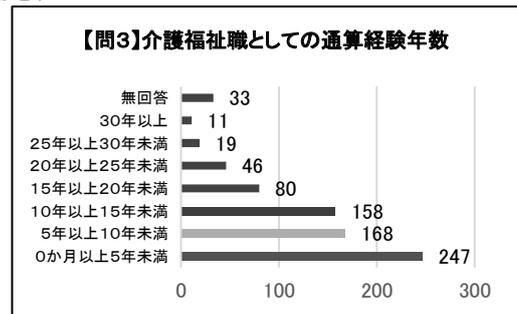
<その他>

専攻科卒業
大学在学中

最終学歴では、「高校卒業」が381名(50.0%)と最も多く、次いで「四年制大学卒業」137名(18.0%)、3番目が「専門学校卒業」108名(14.2%)の順となっている。

【問3】介護福祉職としての通算経験年数(他の職場での経験年数も含む)

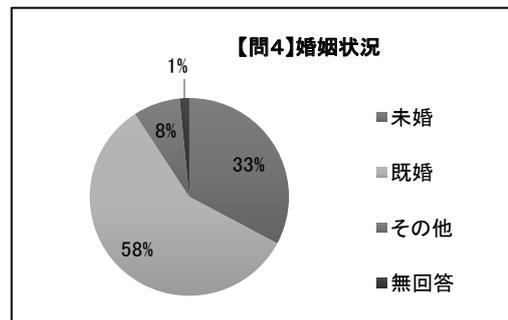
n=762		
	回答数	構成比
1	0か月以上5年未満	247 32.4%
2	5年以上10年未満	168 22.0%
3	10年以上15年未満	158 20.7%
4	15年以上20年未満	80 10.5%
5	20年以上25年未満	46 6.0%
6	25年以上30年未満	19 2.5%
7	30年以上	11 1.4%
8	無回答	33 4.3%
合計		762 100.0%



介護福祉職としての通算経験年数では、「0か月以上5年未満」が247名(32.4%)と最も多く、次いで「5年以上10年未満」168名(22.0%)、「10年以上15年未満」158名(20.7%)と続いている。20年以上の勤務経験がある介護職員は、全体の約1割となっている。

【問4】婚姻状況

n=762		
	回答数	構成比
1	未婚	250 32.8%
2	既婚	442 58.0%
3	その他	58 7.6%
4	無回答	12 1.6%
合計		762 100.0%



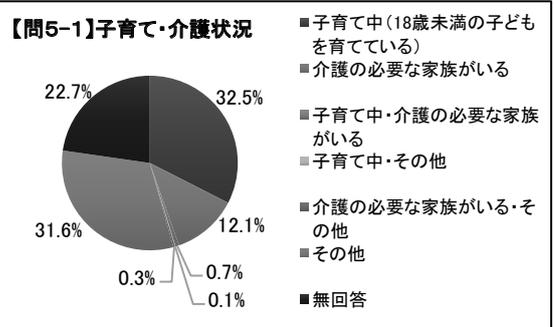
<その他>

離婚	20件
死別	12件
離別	7件

婚姻状況では、未婚250名(32.8%)、既婚442名(58.0%)と既婚者の割合が高くなっている。

【問5-1】子育て・介護状況

n=762		
	回答数	構成比
1	子育て中(18歳未満の子どもを育てている)	248 32.5%
2	介護の必要な家族がいる	92 12.1%
3	子育て中・介護の必要な家族がいる	5 0.7%
4	子育て中・その他	1 0.1%
5	介護の必要な家族がいる・その他	2 0.3%
6	その他	241 31.6%
7	無回答	173 22.7%
合計		762 100.0%

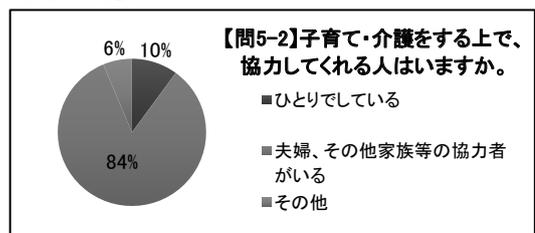


子育て・介護状況では、「子育て中(18歳未満の子どもを育てている)」が248名(32.5%)と最も多く、次いで「その他」241名(31.6%)、「介護の必要な家族がいる」が92名(12.1%)の順となっている。

【問5-2】(問5-1で「1. 子育て中」「2. 介護の必要な家族がいる」と回答した方)

子育て・介護をする上で、協力してくれる人はいますか。

n=348		
	回答数	構成比
1	ひとりできている	35 10.1%
2	夫婦、その他家族等の協力者がいる	291 83.6%
3	その他	22 6.3%
合計		348 100.0%

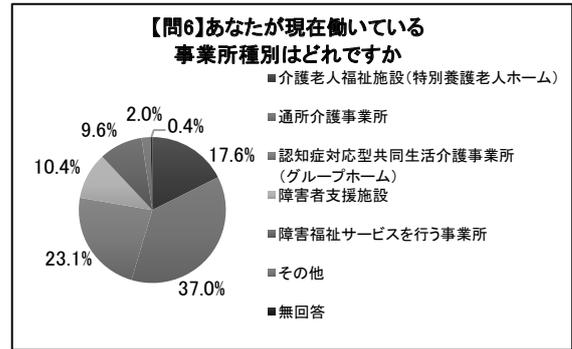


問5-1「子育て中」「介護の必要な家族がいる」との回答者のうち、子育て・介護の協力者の状況では、「夫婦、その他協力者がいる」が291名(83.6%)と8割以上を占めている。「ひとりできている」は35名(10.1%)となっている。

II. 就労状況

【問6】あなたが現在働いている事業所種別はどれですか。複数職場がある場合は、主な職場を1つ。

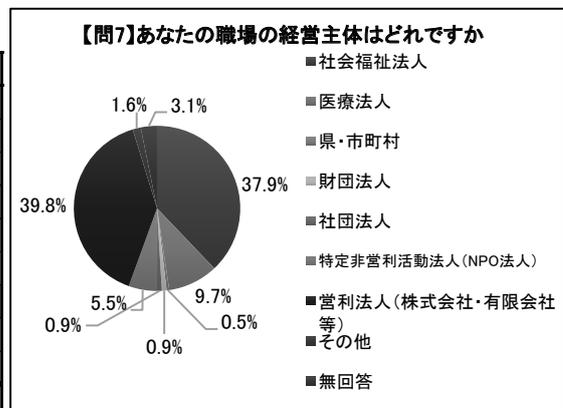
n=762		
	回答数	構成比
1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	134	17.6%
2 通所介護事業所	282	37.0%
3 認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	176	23.1%
4 障害者支援施設	79	10.4%
5 障害福祉サービスを行う事業所	73	9.6%
6 その他	15	2.0%
7 無回答	3	0.4%
合計	762	100.0%



現在の事業所種別では、「通所介護事業所」が282名(37.0%)と最も多く、次いで「認知症グループホーム」176名(23.1%)、「特別養護老人ホーム」134名(17.6%)の順となっている。4番目以下は、「障害者支援施設」79名(10.4%)、「障害福祉サービスを行う事業所」73名(9.6%)となっている。

【問7】あなたの職場の経営主体はどれですか。

n=762		
	回答数	構成比
1 社会福祉法人	289	37.9%
2 医療法人	74	9.7%
3 県・市町村	4	0.5%
4 財団法人	7	0.9%
5 社団法人	7	0.9%
6 特定非営利活動法人(NPO法人)	42	5.5%
7 営利法人(株式会社・有限会社等)	303	39.8%
8 その他	12	1.6%
9 無回答	24	3.1%
合計	762	100.0%



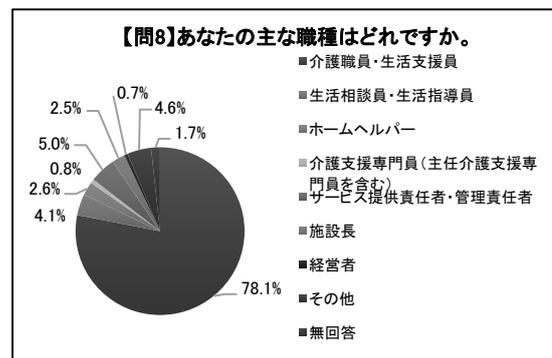
<その他>

生活協同組合	2件	一般社団法人	1件
公益財団法人	1件	分からない	1件
合同会社	1件		

経営主体種別では、営利法人(株式会社・有限会社等)が303名(39.8%)と最も多く、次いで「社会福祉法人」が289名(37.9%)となっており、両方で約8割を占めている。3番目以下では、「医療法人」74名(9.7%)、「NPO法人」42名(5.5%)の順となっている。

【問8】あなたの主な職種はどれですか。

n=762		
	回答数	構成比
1 介護職員・生活支援員	595	78.1%
2 生活相談員・生活指導員	31	4.1%
3 ホームヘルパー	20	2.6%
4 介護支援専門員(主任介護支援専門員を含む)	6	0.8%
5 サービス提供責任者・管理責任者	38	5.0%
6 施設長	19	2.5%
7 経営者	5	0.7%
8 その他	35	4.6%
9 無回答	13	1.7%
合計	762	100.0%



<その他>

看護師、看護職員	15件	送迎員	1件
職業指導員	6件	事務員	1件
児童指導員	2件	相談支援専門員	1件
調理	1件	目標賃金達成指導員	1件

主な職種については、「介護職員・生活支援員」が595名(78.1%)と全体の約8割と多数となっている。次いで「サービス提供責任者・管理責任者」38名(5.0%)、「生活相談員・生活指導員」31名(4.1%)の順となっている。

【問9】あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか。

n=762

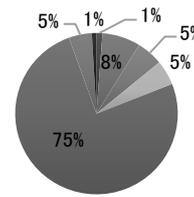
	回答数	構成比
1 経営者(施設や事業所などを経営する者)	9	1.2%
2 施設や事業所などの組織を束ねる管理者	58	7.6%
3 係長・主任等のチームリーダー	40	5.2%
4 介護職のチームリーダー	38	5.0%
5 介護職員	575	75.5%
6 その他	35	4.6%
7 無回答	7	0.9%
合計	762	100.0%

<その他>

生活支援員	5件
支援員	4件
看護師と介護職員の兼務	3件
調理員と介護職員の兼務	1件
事務員と介護職員の兼務	1件
機能訓練師と看護師の兼務	1件
生活相談員と介護職員の兼務	1件
看護師	1件
看護業務	1件

職業指導員	1件
利用者様の健康管理処置他	1件
現場職員の教育担当	1件
管理者	1件
施設職員	1件
一般職員	1件
相談役	1件
管理栄養士	1件
送迎担当	1件

【問9】あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか



- 1 経営者(施設や事業所などを経営する者)
- 2 施設や事業所などの組織を束ねる管理者
- 3 係長・主任等のチームリーダー
- 4 介護職のチームリーダー
- 5 介護職員
- 6 その他
- 7 無回答

職場での立場については、「介護職員」が575名(75.5%)と全体の約8割となっている。次いで「施設や事業所などの組織を束ねる管理者」58名(7.6%)、「係長・主任等のチームリーダー」40名(5.2%)の順となっている。

【問10】あなたの雇用形態はどれですか。

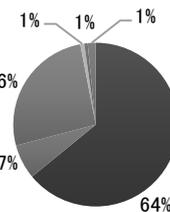
n=762

	回答数	構成比
1 正規職員(正規雇用)	488	64.0%
2 契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)	52	6.8%
3 パート・アルバイト(非正規の直接雇用)	199	26.1%
4 派遣職員(非正規の間接雇用)	6	0.8%
5 その他	5	0.7%
6 無回答	12	1.6%
合計	762	100.0%

<その他>

役員兼任
会社役員
臨時職員

【問10】あなたの雇用形態はどれですか



- 正規職員(正規雇用)
- 契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)
- パート・アルバイト(非正規の直接雇用)
- 派遣職員(非正規の間接雇用)
- その他
- 無回答

雇用形態別では、「正規職員(正規雇用)」が488名(64.0%)と最も多く、次いで「パート・アルバイト(非正規の直接雇用)」199名(26.1%)、「契約職員・嘱託職員(非正規の直接雇用)」52名(6.8%)の順となっている。

【問11】あなたの1週間あたりの超過勤務時間は、平均して何時間程度ですか。

※誤回答が散見されるため、調査項目から除外します。

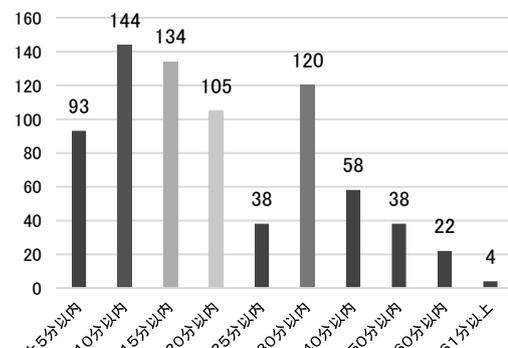
【問12】あなたの通勤時間(片道)は、何分程度ですか。

n=762

	回答数	構成比
1 0分以上5分以内	93	12.2%
2 6分以上10分以内	144	18.9%
3 11分以上15分以内	134	17.6%
4 16分以上20分以内	105	13.8%
5 21分以上25分以内	38	5.0%
6 26分以上30分以内	120	15.7%
7 31分以上40分以内	58	7.6%
8 41分以上50分以内	38	5.0%
9 51分以上60分以内	22	2.9%
10 61分以上	4	0.5%
11 無回答	6	0.8%
合計	762	100.0%

通勤時間(片道)では、「6分以上10分以内」が144名(18.9%)と最も多く、次いで「11分以上15分以内」が134名(17.6%)、「26分以上30分以内」120名(15.7%)の順となっている。全体的には「30分以内」の回答が8割以上を占めている。

【問12】あなたの通勤時間(片道)は、何分程度ですか

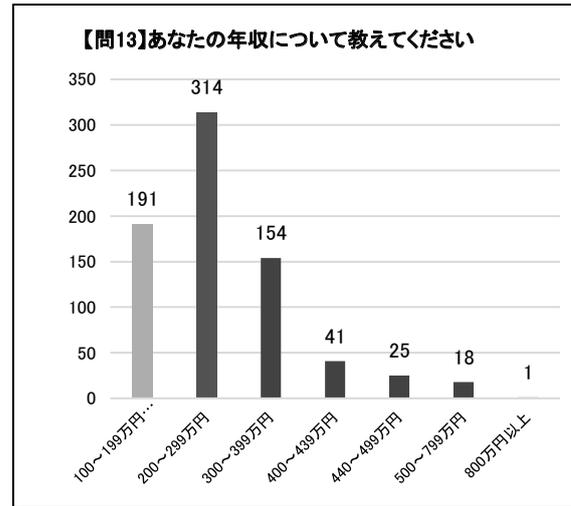


【問13】あなたの年収について教えてください。

n=762

		回答数	構成比
1	100～199万円以下	191	25.1%
2	200～299万円	314	41.2%
3	300～399万円	154	20.2%
4	400～439万円	41	5.4%
5	440～499万円	25	3.3%
6	500～799万円	18	2.4%
7	800万円以上	1	0.1%
8	無回答	18	2.4%
	合計	762	100.0%

年収別では、「200～299万円」が314名(41.2%)と最も多く、2番目が「100～199万円以下」191名(25.1%)、3番目が「300～399万円」154名(20.2%)の順となっている。上位3つで約9割を占めている。「400万円以上」の回答は、全体の約1割となっている。



【問14】職務に関わる研修(職場内・職場外問わない)について、あなたが過去1年間に参加した研修回数を教えてください。

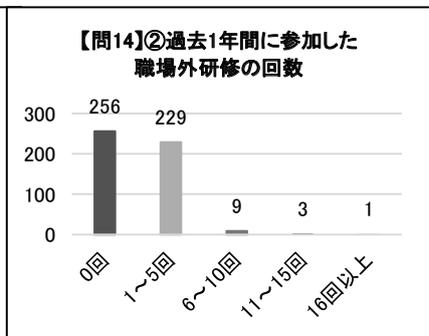
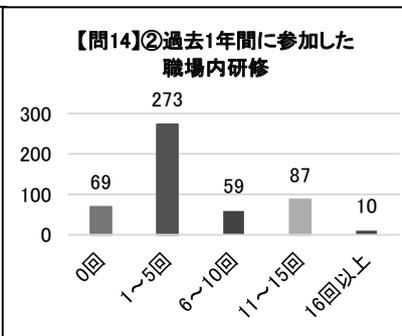
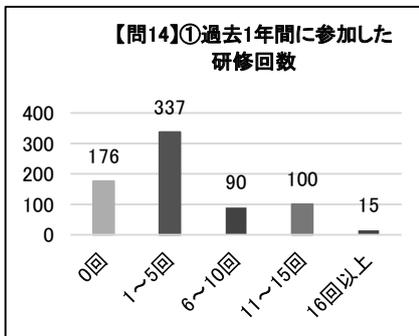
①過去1年間に参加した研修回数

②過去1年間に1回以上研修に参加した方が参加した職場内研修・職場外研修の回数

①n=762

②n=542(762件のうち、①の0回176件と無回答44件、計220件を除く)

参加した研修回数	①		②職場内研修		②職場外研修	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
0回	176	23.1%	69	12.7%	256	47.2%
1回	91	11.9%	79	14.6%	134	24.7%
2回	104	13.6%	73	13.5%	57	10.5%
3回	63	8.3%	46	8.5%	22	4.1%
4回	44	5.8%	37	6.8%	7	1.3%
5回	35	4.6%	38	7.0%	9	1.7%
6回	35	4.6%	23	4.2%	2	0.4%
7回	16	2.1%	8	1.5%	3	0.6%
8回	10	1.3%	4	0.7%	2	0.4%
9回	2	0.3%	5	0.9%	0	0.0%
10回	27	3.5%	19	3.5%	2	0.4%
11回	3	0.4%	6	1.1%	0	0.0%
12回	63	8.3%	70	12.9%	1	0.2%
13回	12	1.6%	7	1.3%	0	0.0%
14回	10	1.3%	1	0.2%	0	0.0%
15回	12	1.6%	3	0.6%	2	0.4%
16～20回	11	1.4%	6	1.1%	1	0.2%
21～25回	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
31～35回	2	0.3%	2	0.4%	0	0.0%
41～45回	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
46～50回	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	44	5.8%	44	8.1%	44	8.1%
合計	762	100.0%	542	100.0%	542	100.0%

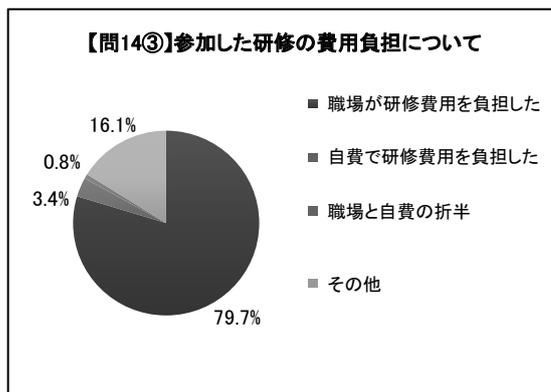


「①過去1年間に参加した研修回数」では、「1～5回」が337名(44.2%)と最も多く、次いで「0回」が176名(23.1%)となっている。3番目以下では、「11回～15回」が100名(13.1%)、「6～10回」が90名(11.8%)、「16回以上」15名(2.0%)の順となっている。また、参加した研修のうちの「職場内の研修回数」内訳では、「1～5回」が273名(50.4%)と最も多く、次いで「11～15回」87名(16.1%)、「0回」69名(12.7%)の順となっている。さらに参加した研修のうちの「職場外の研修回数」内訳では、「0回」が256名(47.2%)と最も多く、次いで「1～5回」が229名(42.3%)となっており、両方で全体の9割を占めている。

【問14③】(過去1年間に1回以上研修に参加した方)参加した研修の費用負担について教えてください。

n=317(542件のうち、無回答225件を除く)

	回答数	構成比
1 職場が研修費用を負担した	1,283	79.7%
2 自費で研修費用を負担した	54	3.4%
3 職場と自費の折半	13	0.8%
4 その他	260	16.1%
合計	1,610	100.0%



<その他>

費用負担なし	19件
無料	11件
無料のオンライン・動画研修	7件
職場内研修の為、無料	5件
テキスト代、自費	1件
実務者研修(ハローワーク主催)	1件

参加した研修回数	職場負担		自費負担		職場と自費の折半		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1回	60	23.3%	14	53.8%	4	66.7%	14	26.4%
2回	62	24.0%	3	11.5%	0	0.0%	8	15.1%
3回	27	10.5%	4	15.4%	0	0.0%	6	11.3%
4回	22	8.5%	3	11.5%	1	16.7%	5	9.4%
5回	16	6.2%	2	7.7%	1	16.7%	3	5.7%
6回	9	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.4%
7回	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
8回	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
9回	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10回	8	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
11回	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
12回	27	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	11.3%
13回	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14回	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15回	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16回	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
17回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18回	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
19回	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
20回以上	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
合計	258	100.0%	26	100.0%	6	100.0%	53	100.0%

参加研修の費用負担(複数回答)では、「職場が研修費用を負担」が1,283名(79.7%)が最も多く、次いで順に「その他」260名(16.1%)、「自費で研修費用を負担」54名(3.4%)となっている。「その他」(16.1%)の内容をみると、職場内件数のため無料等、費用負担なしが多数を占めている。

【問14④】(問14で「過去1年間に参加した研修回数がゼロ」と回答した方)参加していない理由をお聞かせください。

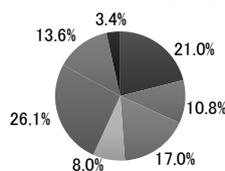
n=176

		回答数	構成比
1	機会があれば参加したいが、業務的余裕がない(人手不足、マンパワー等)	37	21.0%
2	機会があれば参加したいが、経済的な余裕がない(職場の財政的理由、個人の経済的理由等)	19	10.8%
3	機会があれば参加したいが、研修に関する情報を知らないため参加できない	30	17.0%
4	参加したいと思う研修がない	14	8.0%
5	研修に行くことは考えていない	46	26.1%
6	その他	24	13.6%
7	無回答	6	3.4%
	合計	176	100.0%

<その他>

入社して間もない為	6件
コロナ禍の為、研修がなかった。行けなかった。	4件
子どもの世話・送迎等の為	3件
家庭の事情	2件
時間と余裕がない	1件
パートのため	1件
色々参加したいと思うが、復命書を書くのが面倒	1件

【問14④】参加していない理由



- 業務的余裕がない
- 経済的な余裕がない
- 研修情報を知らない
- 参加したいと思う研修がない
- 研修に行くことは考えていない
- その他
- 無回答

問14で「研修回数が0回」の理由について、「研修に行くことは考えていない」が46名(26.1%)と最も多く、次いで「業務的な余裕がない」37名(21.0%)、「研修に関する情報を知らない」30名(17.0%)の順となっている。また、「機会があれば参加したいが、経済的な余裕がない」といった職場、個人の財政的・経済的な理由により参加できないが19名(10.8%)となっている。

Ⅲ. 回答者の状況

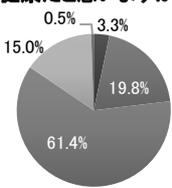
【問15】あなたの状態について、最も当てはまるものはどれですか。

①まったくそう思わない ②あまりそう思わない ③ある程度はそう思う ④非常にそう思う

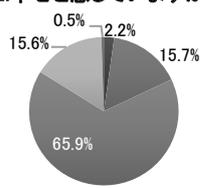
n= 762

		①	②	③	④	無回答	合計
1	あなたは普段、ご自分で健康だと思いますか	25	151	468	114	4	762
	回答数	25	151	468	114	4	762
2	あなたは普段、どの程度幸せと感じていますか	17	120	502	119	4	762
	回答数	17	120	502	119	4	762
3	今の調子でやっていけば、これから起きることにでも対応できる自信がありますか	47	230	428	53	4	762
	回答数	47	230	428	53	4	762
4	期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか	96	286	302	73	5	762
	回答数	96	286	302	73	5	762

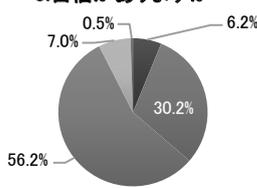
1.健康だと思いますか



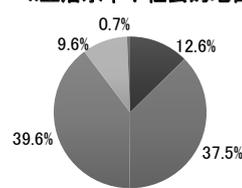
2.幸せと感じていますか



3.自信がありますか



4.生活水準や社会的地位



- ①まったくそう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③ある程度はそう思う
- ④非常にそう思う
- 無回答

回答者の健康状況では、「ある程度は思う」が468名(61.4%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」151名(19.8%)、「非常にそう思う」114名(15.0%)の順となっている。

回答者の幸せの感覚では、「ある程度は思う」が502名(65.9%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」120名(15.7%)、「非常にそう思う」119名(15.6%)の順となっている。

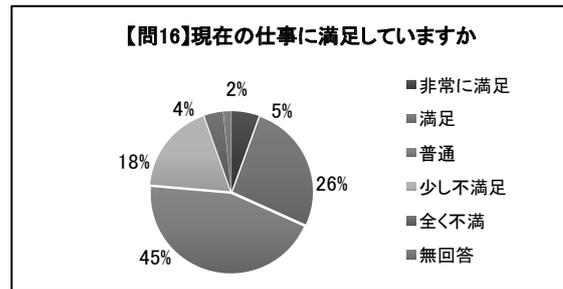
回答者の今後の対応への自信の感覚では、「ある程度は思う」が428名(56.2%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」230名(30.2%)、「非常にそう思う」53名(7.0%)の順となっている。

回答者の生活水準、社会的地位の感覚では、「ある程度は思う」が302名(39.6%)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」286名(37.5%)となっている。また、期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたかどうかでは、「まったくそう思わない」が、96名(12.6%)となっている。

IV. 回答者の思い

【問16】あなたは、現在の仕事に満足していますか。

n=762		
	回答数	構成比
1 非常に満足	42	5.5%
2 満足	200	26.2%
3 普通	340	44.6%
4 少し不満足	139	18.2%
5 全く不満足	29	3.8%
6 無回答	12	1.6%
合計	762	100.0%



現在の仕事の満足度では、「普通」が340名(44.6%)と最も多く、次いで「満足」200名(26.2%)の順となっている。3番目以下は、「少し不満足」139名(18.2%)、「非常に満足」42名(5.5%)、「全く不満足」29名(3.8%)の順となっている。

【問17】やりがいに感じていることをお聞かせください。

※514件の回答あり 主な回答結果は「介護職員を対象とした調査結果の概要 4) (1)」参照のこと

<問17:やりがいに感じていること(自由記述):主な回答内容/部分抜粋>

▼利用者・家族からの感謝・笑顔により、人や社会の役に立っていると感じた時(一部抜粋)

・「ありがとう」などの感謝の言葉を利用者様からもらった時
・笑顔になってくれたり、「ありがとう」の言葉にやりがいを感じる
・お客様に感謝の言葉を頂いた時
・介護の仕事をして、ご利用者が笑顔になるとき
・ご家族から感謝された時にやりがいを感じる
・子供たちの成長を見ること。保護者の人の相談に乗り、解決できて、笑顔が出た時
・利用者から感謝をされたり役に立てたと思うとやりがいを感じる
・自分を必要としてくれていることにやりがいを感じる
・入居者様に喜んで頂き、安心して生活されていると感じた時
・認知症や精神障害の入所(居)者様が自分の言葉かけに安心して落ち着かれた時
・日々の業務やサービスの中で利用者から喜びや感謝の気持ちを直接いただけること
・利用者が心を開いてくれていると感じた時
・利用者が楽しめる活動等を見つけたり新しい発見があった時
・利用者との関わるなかで色々なことを把握出来たり、笑顔が見れるだけで、がんばれる
・利用者やご家族に満足して頂いていると実感した時
・利用者さんが成長したと感じたとき。自分の勤務態度についてほめてもらえたとき
・利用者さんと笑い合ったり、笑顔が見られたりするとうれしい
・利用者さんの成長を感じたとき。利用者さんの夢が叶ったとき
・利用者との距離が近く、楽しい時間を一緒に過ごせている事 等

▼業務スキルの向上や経験蓄積により自己成長を感じる時(一部抜粋)

・介護の技術や知識が身につく、家族の介護に役立った時
・経験値が上がっていく事に喜びを感じる。視野が広がったと感じた時
・自分の今までの経験を活かした時
・出来なかった事が少しずつ出来るようになり、時間も少しずつ早くなってきたこと
・できることが増えたと感じた時。できなかったことができるようになった時
・人と接する事のむずかしさもありませんが、日々の変化で自分を成長させてもらえること 等

▼職員スタッフによるチームワークを発揮・認識できた時(一部抜粋)

・上司、職員に恵まれて、頑張ろうという気持ちになる
・職員がいきいきとしていること。利用者さまが「私たちが必要としている」と感じられること
・ユニットで1つのチームとして、他のスタッフと協力しあえていること
・スタッフ間の信頼関係が構築出来た時、出来ていると感じた時。
・チームとして役割を全うできた時。利用者・ご家族からの感謝の思いを頂ける時
・チームを組んで1つ1つの問題に取り組む事が出来た時
・他のスタッフが自分を頼ってくれて利用者さんから頼られたりした時にやりがいを感じる
・他のスタッフの方から頼りにされて仕事を任せられる時
・ユニットで1つのチームとして、他のスタッフと協力しあえていると感じる時
・何でも話せる職場でよい方向へに向かってチームで取り組んでいる時
・人間関係が良いのでそこがやりがいになっている 等

▼その他(働き方や雇用条件などの働きやすさを感じている)(一部抜粋)

- ・子育て中であるが両立できていることが嬉しい
- ・家族と共に過ごす時間が確保できている
- ・給料が上がった時 等

▼やりがいを感じられない 等(一部抜粋)

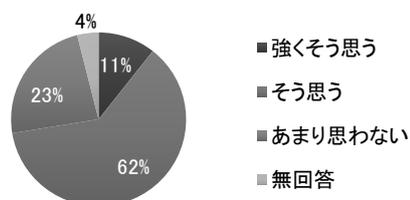
- ・今の状態では不安ばかり
- ・お金と仕事内容が成り立っていない
- ・最近、やりがいを感じていない 等

【問18】あなたは介護福祉職を続けようと思いますか。

n=762

	回答数	構成比
1 強くそう思う	81	10.6%
2 そう思う	471	61.8%
3 あまり思わない	180	23.6%
4 無回答	30	3.9%
合計	762	100.0%

【問18】あなたは介護福祉職を続けようと思いますか



介護職を続けたいかどうかの意向では、「そう思う」471名(61.8%)と最も多く、次いで「あまり思わない」180名(23.6%)、3番目に「強くそう思う」81名(10.6%)の順となっている。

【問19】これまでの介護福祉の仕事振り返り、心に残る経験や出来事(感動した、嬉しかった、つらかったなど)とその理由を教えてください。

<主な回答／一部抜粋> ※回答:504件

1. 感動した出来事

コップにお茶が入ると、すぐ飲まないと気がすまない利用者さんに、事務所にいる職員さんにお茶を持って行ってもらうという役割を持ってもらった。その日はみんなの分のお茶も入れてもらい、入れ終わった後少し様子を見てみると、事務所にいる職員さんのお茶を一番に持って行って。自分が一番にお茶を飲みたいはずなのに偉いなと感動した。

看取り介護を今まで10名近く行い、皆さん息を引き取るまでがんばっている姿。

利用者さん自身、またはご家族の悩みに寄り添い、共に課題をクリアしたこと。自身の気持ちを上手く表現出来ない利用者さんの気持ちが汲み取れた時の感動はとても大きいものです。

2. 嬉しかった出来事

・普段、施設では食欲なく食事量も少ない利用者さんが外食へ行くと嬉しそうに沢山ご飯食べてくれた時はすごくうれしかったです。施設内ばかりいても楽しくないから、利用者さんも外出する事で喜ばれるんだなと思い私も嬉しい気持ちになりました。もう一つは看取りの方に本人の希望で仲の良い利用者さん職員・家人と地元の四国の親せきの方に会いに行った事です。最後にやりたい事をさせてあげれたなと思います。

作業所に通所できることが幸せと言ってくれたことがとても嬉しかった。

利用者がリハビリを頑張って目標であった在宅復帰できた時がとても嬉しかったです。“私にもできた””これができるようになった”という言葉をきけるのが一番の嬉しいことです。

3. つらかった出来事

利用者さんからの暴力がつらかった。

利用者様が亡くなられた時。

職場内のいじめ

4. その他様々な出来事

エンゼルケアさせて頂いた時、ご利用者の人生の最期に立ち合うという責任感と、ささいな事が当たり前に行っている自分は幸せだと感じた。

お年寄りとのコミュニケーションで喜怒哀楽をそのまま出してくれるのでそこに接していると、心に残る事があります。

感情を入れないように努力している。

【問20】離職を思いとどまることができたエピソード(誰から・どんな・なぜ等)をお聞かせください。

※340件の回答あり

<主な回答>

利用者さんに頼りにしていると話をされた時

ご利用者様に「ずっとここにおってな」と涙ながらに言われた。

知人を通し、利用者家族からの御礼の言葉を頂いた。

事業所のスタッフがいい人だから。

自分の変化に気づき、話かけてくれる会社の上司がいたこと。

職場の仲間がいたから。

家族から現在の仕事があなたに合っているとされたこと。

家族との生活があるから。

自分で自分を励ましたり、家族の温かい言葉。

他の施設で働いている友達の話を知ると、自分の職場はまだ恵まれていると思った。

友人から止められた事

友人や家族に、「よく頑張っている」と言われた事。他の職員に相談ができる人がいる。

自分の成長につながると思ってふみとどまった。

人員がギリギリでシフトを組んでいるので、自分が辞めると他の職員に迷惑がかかると思った為。

生活の為

自分が好きな仕事なので、離職したいと思わないです。

まだ離職しようと思った事はありますが、資格を取るまでは続けようと思っている。

まだ離職を考えていませんが、チームの仲間が普段からサポートしてくれているので大丈夫だと思います。

【問21】離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思いますか。

※354件の回答あり

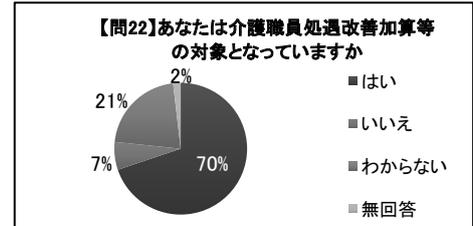
<主な回答>

1か月～3か月間のお試し
1週間のお試し就職(報酬あり)
3日間のお試し就職(報酬有)
給与向上。休みが多い。
雇用契約の内容を明確に提示してもらう。
退職金
インターンのような職場体験(人間関係・雰囲気などがわかるような)
見学、面接時に施設スタッフと話しが出来る時間があればいいと思う。(施設の実情を知る事が出来れば、就職してからの乖離が少ないと思う。)
職場体験(報酬あり)
・意見を言いやすい環境(新人でも) ・職員自身が優しく接する(誰にでも)
仕事をするにあたり、職員一人ひとりのモチベーションが保たれるような上司との関わり(職員への声かけetc.)
職員間で仕事を助け合える環境であってほしい。
業務が慣れるまでパートナー制度等あれば働きやすい。
新人の職員に教育する人をつけて同じ人が指導するようにしたらいいと思う。シフトで毎日指導者が変わると教え方がバラバラで困惑すると思う。
相談しやすい新人指導者がいる環境があれば良い。
もっと自由に休みを取れる職場であってほしい。
有休が取りやすい。資格賃金アップ。離職率少
・産休・育休の取りやすさ(事業所の大きさに関わらず) ・家族と過ごす時間(平日夕方、土日祝)の確保 ・良好な人間関係構築のための上司や会社のバックアップ ・上司の育成(スタッフ全員への正しい評価) ・他業種と同じ程度の給与(サービス残業の徹底的な廃止)
・介護職は介護の仕事。 ・ナースは、バイタル測定や調子が悪そうな人の観察処置。 ・そうじ(居室を含めシーツ交換)は掃除の人等いれば、良いと思う。 ・人数を余裕を持って配置しても経営していけるような制度(忙しい時を想定して忙しい時を通常として)
仕事量の不公平を改善してほしい。
施設内もしくは法人内で同じ部署に在籍できる年数が決まっている。(例外あり)異動を行うことで循環を良くし古い考えに固執した考えを無くす。男女別トイレ。職員のプライバシーを守れる休憩スペースがある。
子育て支援(産休育休などの取りやすさ)
子育て中なので、子供の行事や体調不良で学校を休む時は休みがとりやすい制度があると良い。
職場に託児所等あれば働きやすくなると思う。
コンプライアンス
新しい技術をどんどん取り入れている。ロボットがいたり、新しい運営の形態があったり。
髪型自由、服装自由、制度。お試し期間制度

V. 介護職員処遇改善加算等

【問22】あなたは介護職員処遇改善加算等の対象となっていますか。

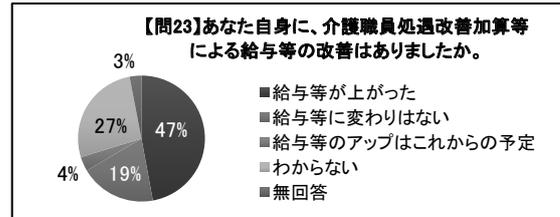
n=762		回答数	構成比
1	はい	532	69.8%
2	いいえ	52	6.8%
3	わからない	164	21.5%
4	無回答	14	1.8%
合計		762	100.0%



介護職員処遇改善加算の対象状況では、「はい」が532名(69.8%)と多数となっており、全体の約7割を占めている。次いで「わからない」が164名(21.5%)、「いいえ」は52名(6.8%)となっている。

【問23】あなた自身に、介護職員処遇改善加算等による給与等の改善はありましたか。

n=762		回答数	構成比
1	給与等が上がった	359	47.1%
2	給与等に変わりはない	148	19.4%
3	給与等のアップはこれからの予定	28	3.7%
4	わからない	204	26.8%
5	無回答	23	3.0%
合計		762	100.0%



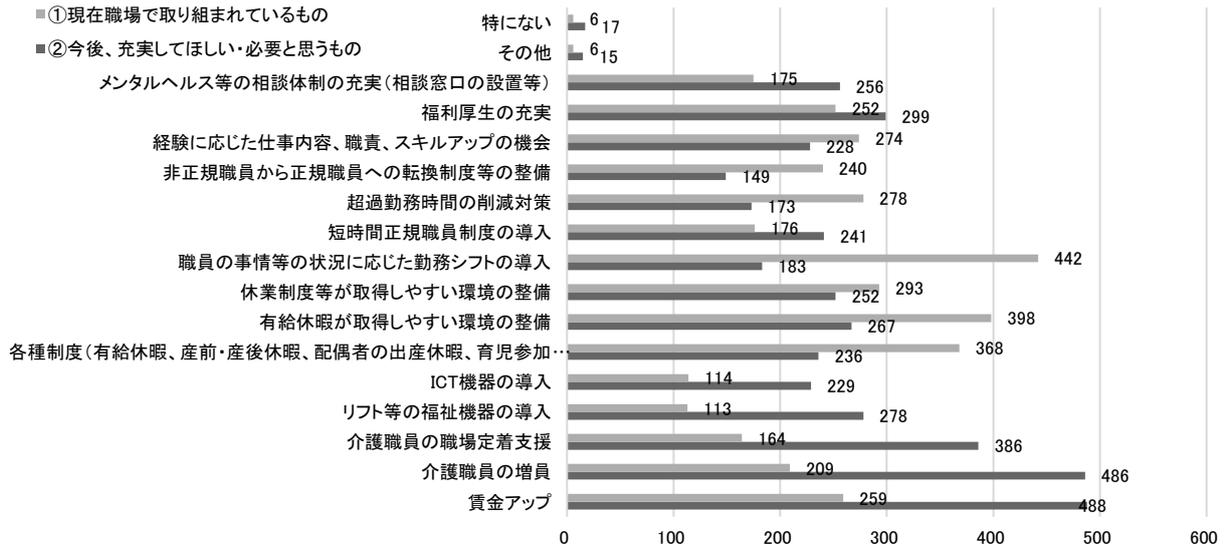
介護職員処遇改善加算による給与改善の状況では、「給与等が上がった」が359名(47.1%)と最も多く、次いで「わからない」204名(26.8%)の順となっている。3番目以下では、「給与等に変わりはない」が148名(19.4%)、「給与等のアップはこれからの予定」28名(3.7%)の順となっている。

【問24】あなたの働く職場において、教えてください。(複数回答可)

- ① 現在職場で取り込まれているもの ①n=626(762件のうち、無回答136件を除く)
 ② 今後、充実してほしい・必要と思うもの ②n=681(762件のうち、無回答81件を除く)

	①現在		②今後		
	回答数	構成比	回答数	構成比	
1	賃金アップ	259	6.9%	488	11.7%
2	介護職員の増員	209	5.5%	486	11.6%
3	介護職員の職場定着支援	164	4.4%	386	9.2%
4	リフト等の福祉機器の導入	113	3.0%	278	6.6%
5	ICT機器の導入	114	3.0%	229	5.5%
6	各種制度(有給休暇、産前・産後休暇、配偶者の出産休暇、育児参加のための休暇、育児休暇・育児時短勤務、介護休暇等)のルールや取得方法の周知・サポート	368	9.8%	236	5.6%
7	有給休暇が取得しやすい環境の整備	398	10.6%	267	6.4%
8	休業制度等が取得しやすい環境の整備	293	7.8%	252	6.0%
9	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入	442	11.7%	183	4.4%
10	短時間正規職員制度の導入	176	4.7%	241	5.8%
11	超過勤務時間の削減対策	278	7.4%	173	4.1%
12	非正規職員から正規職員への転換制度等の整備	240	6.4%	149	3.6%
13	経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの機会	274	7.3%	228	5.5%
14	福利厚生充実	252	6.7%	299	7.1%
15	メンタルヘルス等の相談体制の充実(相談窓口の設置等)	175	4.6%	256	6.1%
16	その他	6	0.2%	15	0.4%
17	特になし	6	0.2%	17	0.4%
合計		3,767	100.0%	4,183	100.0%

【問24】あなたの働く職場において、教えてください。



職場における処遇や業務改善の取組について、「現在、取り組まれているもの」では、「職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入」が442名(11.7%)と最も多く、次いで「有給休暇が取得しやすい環境整備」398名(10.6%)、3番目が「各種制度(産休育休・時短勤務・介護休暇等)のルールや取得方法の周知・サポート」368名(9.8%)の順となっている。4番目以下では、「休業制度等が取得しやすい環境整備」293名(7.8%)、「超過勤務時間の削減対策」278名(7.4%)、「経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの機会」274名(7.3%)、「賃金アップ」259名(6.9%)の順に続いている。

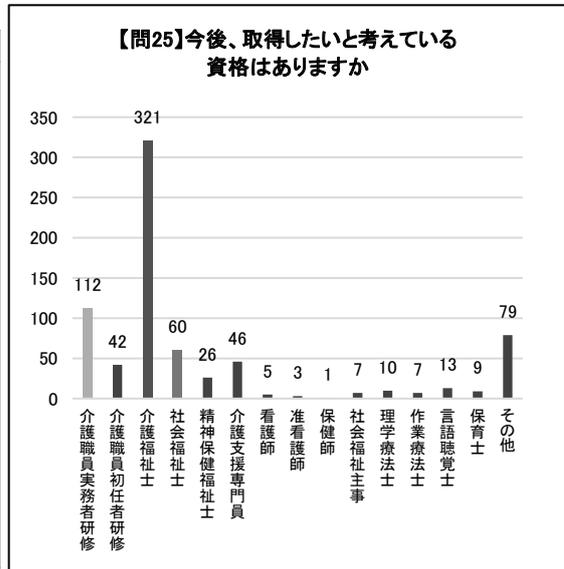
また、「今後、充実してほしい・必要と思うもの」では、「賃金アップ」が488名(11.7%)と最も多く、次いで「介護職員の増員」が486名(11.6%)、3番目が「介護職員の職場定着支援」386名(9.2%)となっている。4番目以下では、「福利厚生等の充実」299名(7.1%)、「リフト等の福祉機器の導入」278名(6.6%)、「有給休暇が取得しやすい環境整備」267名(6.4%)、「メンタルヘルス等の相談体制の充実」256名(6.1%)の順に続いている。

VI. キャリアアップ

【問25】今後、取得したいと考えている資格はありますか。(複数回答可)

n=514(762件のうち、無回答248件を除く)

資格	回答数	構成比
1 介護職員実務者研修	112	15.1%
2 介護職員初任者研修	42	5.7%
3 介護福祉士	321	43.3%
4 社会福祉士	60	8.1%
5 精神保健福祉士	26	3.5%
6 介護支援専門員	46	6.2%
7 看護師	5	0.7%
8 准看護師	3	0.4%
9 保健師	1	0.1%
10 社会福祉主事	7	0.9%
11 理学療法士	10	1.3%
12 作業療法士	7	0.9%
13 言語聴覚士	13	1.8%
14 保育士	9	1.2%
15 その他	79	10.7%
合計	741	100.0%



<その他>

考えていない・特になし	61件	心理カウンセラー	1件
年齢的に考えていない	3件	防災訓練士	1件
嗜煙吸引、注入の研修	1件	ヨガ	1件
指導に関する資格	1件	とれるものを少しづつ	1件
主任ケアマネ	1件		

今後取得したい資格では、「介護福祉士」が321名(43.3%)と最も多く、次いで「介護職員実務者研修」が112名(15.1%)、3番目が「社会福祉士」60名(8.1%)となっている。4番目以下では、「介護支援専門員」46名(6.2%)、「介護職員初任者研修」42名(5.7%)、「精神保健福祉士」26名(3.5%)の順で続いている。

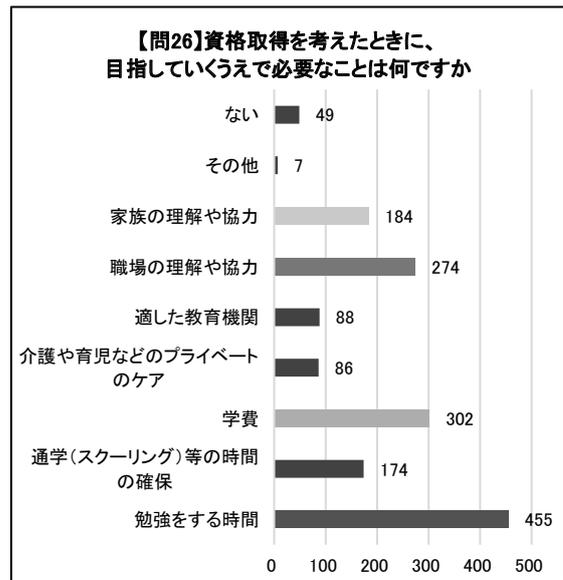
【問26】資格取得を考えたときに、目指していくうえで必要なことは何ですか。(複数回答可)

n=643(762件のうち、無回答119件を除く)

	回答数	構成比
1 勉強をする時間	455	28.1%
2 通学(スクーリング)等の時間の確保	174	10.7%
3 学費	302	18.7%
4 介護や育児などのプライベートのケア	86	5.3%
5 適した教育機関	88	5.4%
6 職場の理解や協力	274	16.9%
7 家族の理解や協力	184	11.4%
8 その他	7	0.4%
9 ない	49	3.0%
合計	1,619	100.0%

<その他>

介護福祉士試験の理解度
資格取得期間中の生活の安定
自身の健康
受験資格3年、540日以上
人員が足りている
モチベーションの維持
やる気



資格取得を目指す時に必要なことでは、「勉強する時間」が455名(28.1%)と最も多く、次いで「学費」302名(18.7%)、3番目が「職場の理解や協力」274名(16.9%)の順となっている。4番目以下では、「家族の理解や協力」184名(11.4%)、「通学等の時間の確保」174名(10.7%)、「適した教育機関」88名(5.4%)との順で続いている。

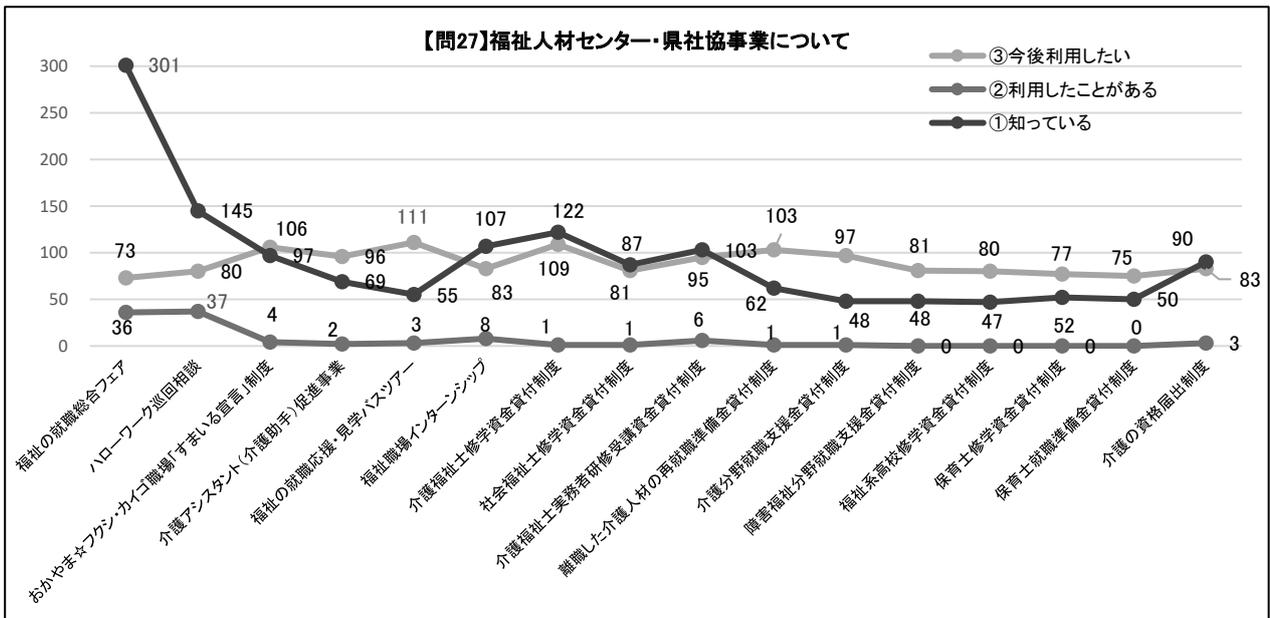
Ⅶ. 福祉人材センター・県社協事業の認知度

【問27】福祉人材センター・県社協事業のなかで、当てはまるものはなんですか。(すべて回答)

- ①知っている
- ②利用したことがある
- ③今後利用したい

n=525(762件のうち、無回答237件を除く)

	①知っている		②利用した		③今後利用したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 福祉の就職総合フェア	301	20.3%	36	35.0%	73	5.1%
2 ハローワーク巡回相談	145	9.8%	37	35.9%	80	5.6%
3 おかやま☆フクシ・カイゴ職場「すまいる宣言」制度	97	6.5%	4	3.9%	106	7.4%
4 介護アシスタント(介護助手)促進事業	69	4.7%	2	1.9%	96	6.7%
5 福祉の就職応援・見学バスツアー	55	3.7%	3	2.9%	111	7.8%
6 福祉職場インターンシップ	107	7.2%	8	7.8%	83	5.8%
7 介護福祉士修学資金貸付制度	122	8.2%	1	1.0%	109	7.6%
8 社会福祉士修学資金貸付制度	87	5.9%	1	1.0%	81	5.7%
9 介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度	103	6.9%	6	5.8%	95	6.6%
10 離職した介護人材の再就職準備金貸付制度	62	4.2%	1	1.0%	103	7.2%
11 介護分野就職支援金貸付制度	48	3.2%	1	1.0%	97	6.8%
12 障害福祉分野就職支援金貸付制度	48	3.2%	0	0.0%	81	5.7%
13 福祉系高校修学資金貸付制度	47	3.2%	0	0.0%	80	5.6%
14 保育士修学資金貸付制度	52	3.5%	0	0.0%	77	5.4%
15 保育士就職準備金貸付制度	50	3.4%	0	0.0%	75	5.2%
16 介護の資格届出制度	90	6.1%	3	2.9%	83	5.8%
合計	1,483	100.0%	103	100.0%	1,430	100.0%



福祉人材センター・県社協事業について、知っている事業・取組では、「福祉の就職総合フェア」が301名(20.3%)と最も多く、次いで「ハローワーク巡回相談」145名(9.8%)、3番目が「介護福祉士修学資金貸付制度」122名(8.2%)となっている。4番目以下は、「福祉職場インターンシップ」107名(7.2%)、「介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度」103名(6.9%)の順で続いている。

また、当該センター・事業の利用状況では、「ハローワーク巡回相談」が37名(35.9%)と最も多く、次いで「福祉の就職総合フェア」36名(35.0%)、「福祉職場インターンシップ」8名(7.8%)の順で続いている。なお②利用状況の数値は、①知っていると比較して全体的に少数割合となっている。

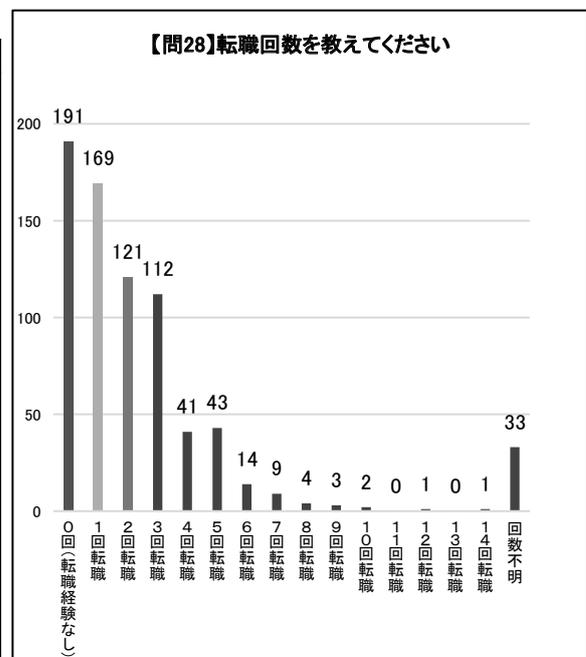
さらに、当該センター・事業の今後の利用希望・意向では、「福祉の就職応援・見学バスツアー」が111名(7.8%)と最も多く、次いで「介護福祉士修学資金貸付制度」が109名(7.6%)、3番目が「おかやま☆フクン・カイゴ職場「すまいる宣言」制度」106名(7.4%)、4番目が「離職した介護人材の再就職準備金貸付制度」103名(7.2%)の順で続いている。

VIII. これまでの介護に関する経験や転職等の経験

【問28】転職経験はありますか。その回数を教えてください。

n=762

転職回数	回答数	構成比
0回(転職経験なし)	191	25.1%
1回転職	169	22.2%
2回転職	121	15.9%
3回転職	112	14.7%
4回転職	41	5.4%
5回転職	43	5.6%
6回転職	14	1.8%
7回転職	9	1.2%
8回転職	4	0.5%
9回転職	3	0.4%
10回転職	2	0.3%
11回転職	0	0.0%
12回転職	1	0.1%
13回転職	0	0.0%
14回転職	1	0.1%
回数不明	33	4.3%
無回答	18	2.4%
合計	762	100.0%

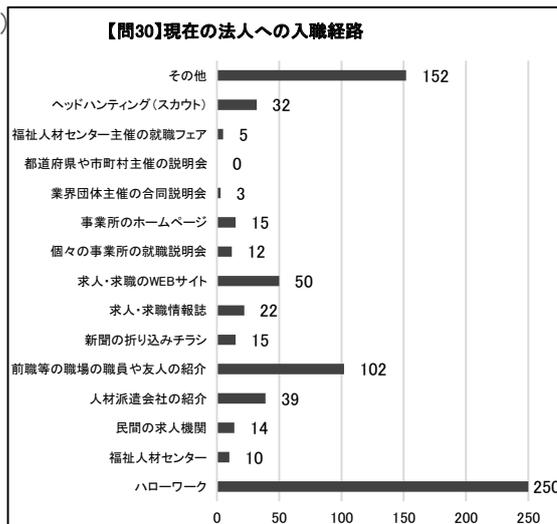


転職の回数では、「0回(転職経験なし)」が191名(25.1%)と最も多く、次いで「1回」が169名(22.2%)、3番目が「2回」121名(15.9%)の順となっている。全体として、約7割が転職経験を有している。

Ⅸ. 現在の法人への入職

【問30】現在の法人への入職経路を教えてください。(主なもの1つ)
n=721(762件のうち、無回答41件を除く)

	回答数	構成比
1 ハローワーク	250	34.7%
2 福祉人材センター	10	1.4%
3 民間の求人機関	14	1.9%
4 人材派遣会社の紹介	39	5.4%
5 前職等の職場の職員や友人の紹介	102	14.1%
6 新聞の折り込みチラシ	15	2.1%
7 求人・求職情報誌	22	3.1%
8 求人・求職のWEBサイト	50	6.9%
9 個々の事業所の就職説明会	12	1.7%
10 事業所のホームページ	15	2.1%
11 業界団体主催の合同説明会	3	0.4%
12 都道府県や市町村主催の説明会	0	0.0%
13 福祉人材センター主催の就職フェア	5	0.7%
14 ヘッドハンティング(スカウト)	32	4.4%
15 その他	152	21.1%
合計	721	100.0%



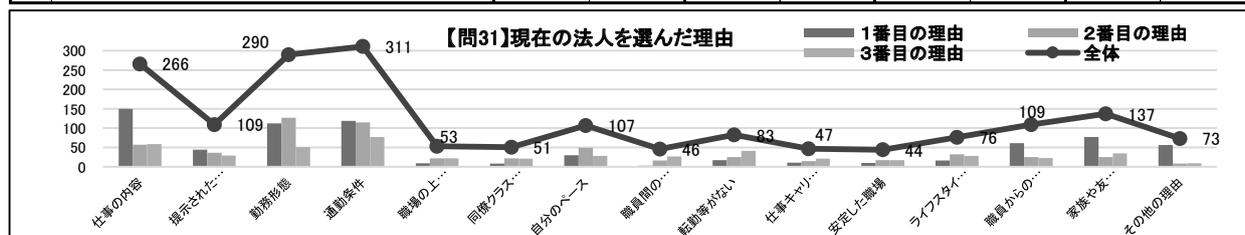
<その他>

知人・友人・職員からの紹介・声掛け	63件	看護師協会からの紹介	1件
起業・自営	26件	求人募集の貼り紙	1件
出身校での紹介・求人閲覧	18件	事業所の求人案内	1件
家族からの紹介	8件	資格取得の際に勧誘を受けて	1件
実習・ボランティア等で施設に関わっていた	5件	ポスティングされたチラシ	1件
職場の事業統合・異動	4件	役員として	1件

現在の法人への入職経路(主なもの1つ)では、「ハローワーク」が250名(34.7%)と最も多く、次いで「その他」152名(21.1%)、3番目が「前職等の職場職員や友人の紹介」102名(14.1%)、4番目が「求人・求職のWEBサイト」50名(6.9%)の順となっている。
「その他(記述)」152名(21.1%)の内容では、知り合い・友人関連によるものや大学・高校の教員・進路担当等の紹介によるものとの回答が多くなっている。

【問31】現在の法人を選んだ理由は何ですか。(1~3番目の理由)

	全体		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 仕事の内容自体にやりがいを感じた	266	14.8%	150	20.7%	57	9.6%	59	12.1%
2 提示された賃金が良かった	109	6.0%	44	6.1%	36	6.1%	29	5.9%
3 勤務形態が良かった	290	16.1%	112	15.5%	127	21.5%	51	10.5%
4 通勤条件が良かった	311	17.3%	119	16.5%	115	19.5%	77	15.8%
5 職場の上司や先輩から学べる機会が多かった	53	2.9%	9	1.2%	22	3.7%	22	4.5%
6 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた	51	2.8%	8	1.1%	22	3.7%	21	4.3%
7 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた	107	5.9%	30	4.1%	49	8.3%	28	5.7%
8 職員間の激しい競争がなく楽だと思った	46	2.6%	3	0.4%	16	2.7%	27	5.5%
9 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた	83	4.6%	17	2.4%	25	4.2%	41	8.4%
10 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積む機会があると感じた	47	2.6%	11	1.5%	15	2.5%	21	4.3%
11 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った	44	2.4%	10	1.4%	17	2.9%	17	3.5%
12 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた	76	4.2%	16	2.2%	32	5.4%	28	5.7%
13 その事業所で働く職員からの誘いや勧め	109	6.0%	61	8.4%	25	4.2%	23	4.7%
14 家族や友人の勧め	137	7.6%	77	10.7%	25	4.2%	35	7.2%
15 その他の理由	73	4.1%	56	7.7%	8	1.4%	9	1.8%
合計	1,802	100.0%	723	100.0%	591	100.0%	488	100.0%



<その他>

介護・福祉の仕事に興味があった	8件
家から近い、自転車通勤できる	4件
出身学校からの紹介、学校への求人	4件
自営・起業	4件
職場の雰囲気・外観・環境等がよかった	4件
家族が世話になった、入所している	3件
派遣会社・求職サイトからの紹介	3件
オープニングスタッフだったから	2件
経験が役立つと思った(幼稚園教諭等)	2件

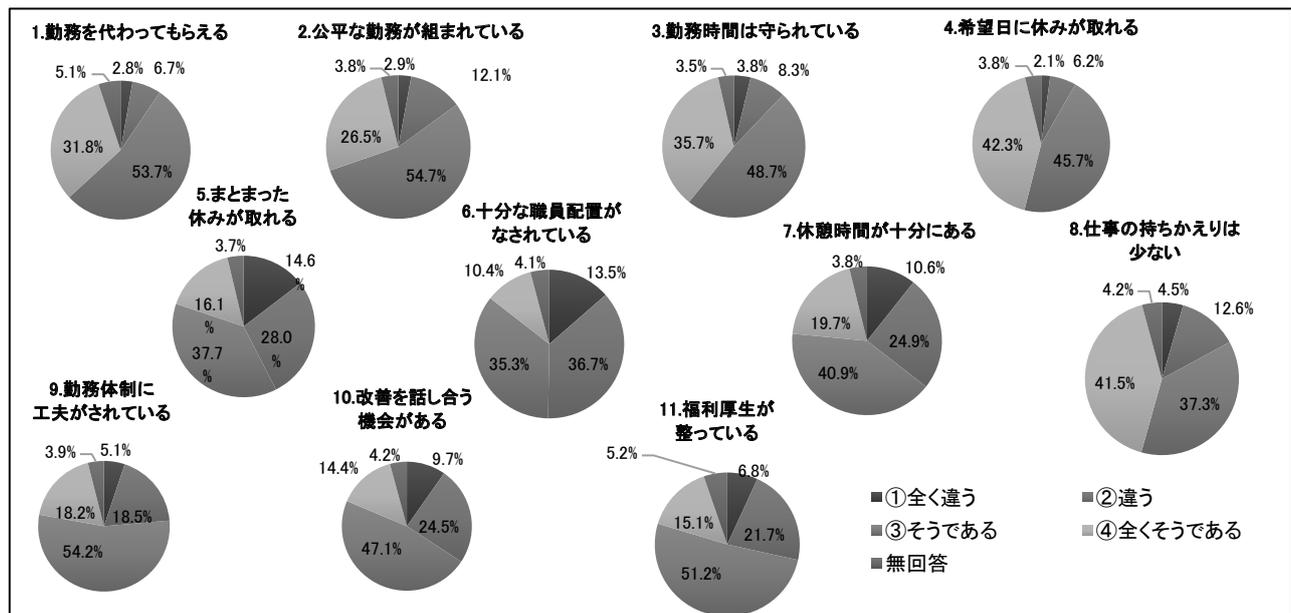
知人の紹介	1件
職員からの声掛け	1件
求人メッセージがとても良かったから。	1件
説明会の人事の方の印象がとても良かった	1件
ちがう仕事があった	1件
年間休日が多い	1件
資格をもっていた	1件
年齢が高くても正社員で働ける	1件

現在の法人を選んだ理由(全体集計)では、「通勤条件がよかった」311名(17.3%)と最も多く、次いで「勤務形態がよかった」が290名(16.1%)、3番目が「仕事の内容自体にやりがいを感じた」266名(14.8%)との順となっている。4番目以下では、「家族や友人の勧め」137名(7.6%)、「提示された賃金がよかった」と「その事業所で働く職員からの誘いや勧め」が同値で109名(6.0%)、「落ち着いた自分のペースで仕事ができる職場」107名(5.9%)、「転勤等がなく地元で働き続けることができる」83名(4.6%)の順で続いている。

【問32】現在の法人の組織面について、最も当てはまる番号はどれですか。

- ①全く違う ②違う ③そうである ④全くそうである

		①	②	③	④	無回答	合計
1 勤務を代わってもらえる	回答数	21	51	409	242	39	762
	構成比	2.8%	6.7%	53.7%	31.8%	5.1%	100.0%
2 公平に勤務が組まれている	回答数	22	92	417	202	29	762
	構成比	2.9%	12.1%	54.7%	26.5%	3.8%	100.0%
3 勤務時間は、規則通り守られている	回答数	29	63	371	272	27	762
	構成比	3.8%	8.3%	48.7%	35.7%	3.5%	100.0%
4 希望する日に休みが取れる	回答数	16	47	348	322	29	762
	構成比	2.1%	6.2%	45.7%	42.3%	3.8%	100.0%
5 リフレッシュするため、まとまった休みが取れる	回答数	111	213	287	123	28	762
	構成比	14.6%	28.0%	37.7%	16.1%	3.7%	100.0%
6 十分な職員配置がなされている	回答数	103	280	269	79	31	762
	構成比	13.5%	36.7%	35.3%	10.4%	4.1%	100.0%
7 休憩時間が十分にある	回答数	81	190	312	150	29	762
	構成比	10.6%	24.9%	40.9%	19.7%	3.8%	100.0%
8 仕事を家に持ちかえることは少ない	回答数	34	96	284	316	32	762
	構成比	4.5%	12.6%	37.3%	41.5%	4.2%	100.0%
9 働きやすいように、勤務体制に工夫がされている	回答数	39	141	413	139	30	762
	構成比	5.1%	18.5%	54.2%	18.2%	3.9%	100.0%
10 勤務体制の改善について話し合う機会がある	回答数	74	187	359	110	32	762
	構成比	9.7%	24.5%	47.1%	14.4%	4.2%	100.0%
11 福利厚生が整っている	回答数	52	165	390	115	40	762
	構成比	6.8%	21.7%	51.2%	15.1%	5.2%	100.0%



現在の法人の組織面について、「1勤務を代わってもらうことができる」では、「そうである」が409名(53.7%)、「全くそうである」が242名(31.8%)と両方で全体の約8割を占めている。

「2公平に勤務が組まれている」では、「そうである」が417名(54.7%)、「全くそうである」が202名(26.5%)と両方で全体の約8割以上となっている。

「3勤務時間が規則通り守られている」では、「そうである」が371名(48.7%)、「全くそうである」が272名(35.7%)と両方で全体の約8割以上となっている。

「4希望する日に休みが取れる」では、「そうである」が348名(45.7%)、「全くそうである」が322名(42.3%)と両方で全体の約9割を占めている。

「5リフレッシュのためのまとまった休みがとれる」では、「そうである」が287名(37.7%)と最も多く、次いで「違う」が213名(28.0%)となっている。また、「全く違う」が111名(14.6%)となっている。

「6十分な職員配置がなされている」では、「違う」が280名(36.7%)と最も多く、次いで「そうである」269名(35.3%)となっている。また、「全く違う」が103名(13.5%)となっており、「違う」「全く違う」の両方で全体の約5割を占めている。

「7休憩時間が十分ある」では、「そうである」が312名(40.9%)と最も多く、次いで「違う」が190名(24.9%)、3番目が「全くそうである」150名(19.7%)となっている。また、「全くそう思わない」は81名(10.6%)となっている。

「8仕事を家に持ちかえることは少ない」では、「全くそうである」が316名(41.5%)、「そうである」が284名(37.3%)、と両方で全体の約8割を占めている。

「9働きやすい勤務体制に工夫がされている」では、「そうである」が413名(54.2%)と最も多く、次いで「違う」が141名(18.5%)となっている。また、「全くそうである」は139名(18.2%)となっている。

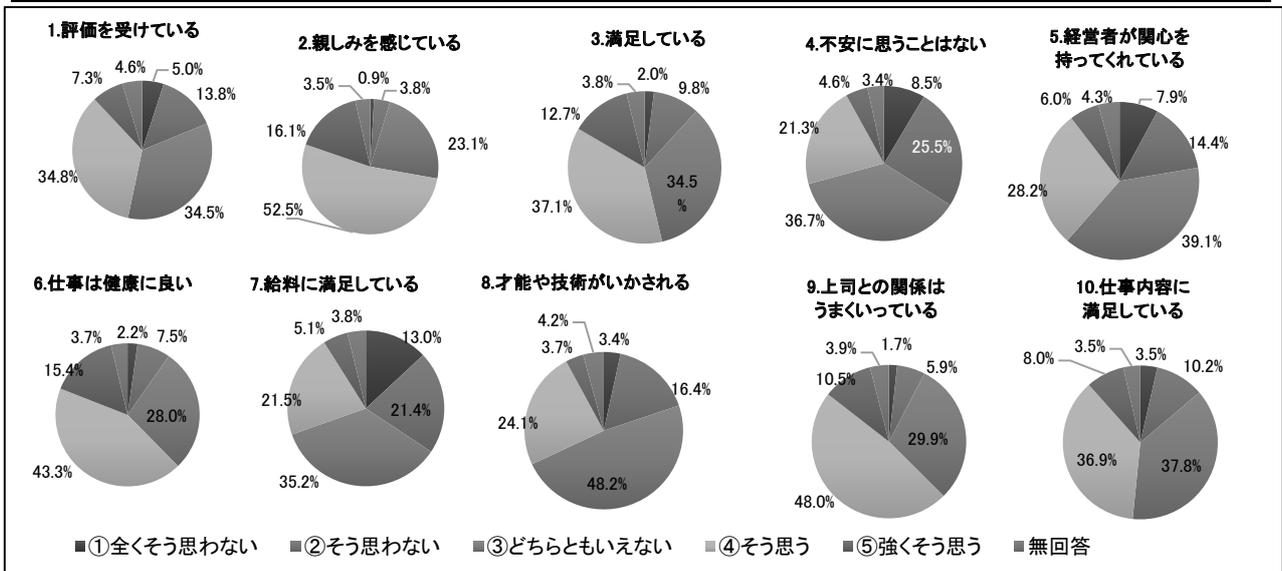
「10勤務体制の改善を話し合う機会がある」では、「そうである」が359名(47.1%)と最も多く、次いで「違う」が187名(24.5%)となっている。また、「全くそうである」は110名(14.4%)、「全く違う」74名(9.7%)となっている。

「11福利厚生が整っている」では、「そうである」が390名(51.2%)と最も多く、次いで「違う」が165名(21.7%)となっている。また、「全くそうである」は115名(15.1%)、「全く違う」52名(6.8%)となっている。

【問33】現在の法人での様子について、最も当てはまる番号はどれですか。

①全くそう思わない ②そう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤強くそう思う

			①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	回答数	38	105	263	265	56	35	762
		構成比	5.0%	13.8%	34.5%	34.8%	7.3%	4.6%	100.0%
2	職場の人々に親しみを感じている	回答数	7	29	176	400	123	27	762
		構成比	0.9%	3.8%	23.1%	52.5%	16.1%	3.5%	100.0%
3	今の職場で働くことに満足している	回答数	15	75	263	283	97	29	762
		構成比	2.0%	9.8%	34.5%	37.1%	12.7%	3.8%	100.0%
4	仕事のことで不安に思うことはない	回答数	65	194	280	162	35	26	762
		構成比	8.5%	25.5%	36.7%	21.3%	4.6%	3.4%	100.0%
5	経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思う	回答数	60	110	298	215	46	33	762
		構成比	7.9%	14.4%	39.1%	28.2%	6.0%	4.3%	100.0%
6	仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思う	回答数	17	57	213	330	117	28	762
		構成比	2.2%	7.5%	28.0%	43.3%	15.4%	3.7%	100.0%
7	給料に満足している	回答数	99	163	268	164	39	29	762
		構成比	13.0%	21.4%	35.2%	21.5%	5.1%	3.8%	100.0%
8	自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	回答数	26	125	367	184	28	32	762
		構成比	3.4%	16.4%	48.2%	24.1%	3.7%	4.2%	100.0%
9	上司との関係はうまくいっている	回答数	13	45	228	366	80	30	762
		構成比	1.7%	5.9%	29.9%	48.0%	10.5%	3.9%	100.0%
10	仕事の内容に満足している	回答数	27	78	288	281	61	27	762
		構成比	3.5%	10.2%	37.8%	36.9%	8.0%	3.5%	100.0%



現在の法人の様子では、「1仕事ができるときに、それなりの評価を受けている」では、「そう思う」が265名(34.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」263名(34.5%)となっている。また「そう思わない」は105名(13.8%)となっている。

「2職場の人々に親しみを感じる」では、「そう思う」が400名(52.5%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が176名(23.1%)となっている。また、「強くそう思う」は123名(16.1%)となっている。

「3今の職場で働くことに満足している」では、「そう思う」が283名(37.1%)で最も多く、次いで「どちらともいえない」263名(34.5%)となっている。また「そう思わない」は75名(9.8%)、「強くそう思う」は97名(12.7%)となっている。

「4仕事のことで不安に思うことはない」では、「どちらともいえない」が280名(36.7%)と最も多く、次いで「そう思わない」が194名(25.5%)となっている。

「5経営者は自分に関心を持ってきている」では、「どちらともいえない」が298名(39.1%)と最も多く、次いで「そう思う」が215名(28.2%)となっている。また「そう思わない」は110名(14.4%)となっている。

「6仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思う」では、「そう思う」が330名(43.3%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が213名(28.0%)、3番目が「強くそう思う」117名(15.4%)となっている。

「7給料に満足している」では、「どちらともいえない」が268名(35.2%)と最も多く、次いで「そう思う」が164名(21.5%)、3番目が「そう思わない」163名(21.4%)となっている。また、「全くそう思わない」は99名(13.0%)となっている。

「8自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている」では、「どちらともいえない」が367名(48.2%)と最も多く、次いで「そう思う」が184名(24.1%)となっている。また、「そう思わない」は125名(16.4%)となっている。

「9上司との関係はうまくいっている」では、「そう思う」が366名(48.0%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が228名(29.9%)、3番目が「強くそう思う」80名(10.5%)となっている。また、「そう思わない」は45名(5.9%)となっている。

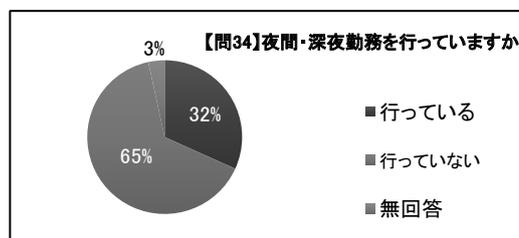
「10仕事の内容に満足している」では、「どちらともいえない」が288名(37.8%)と最も多く、次いで「そう思う」が281名(36.9%)、3番目が「そう思わない」78名(10.2%)となっている。また、「強くそう思う」は61名(8.0%)、「全くそう思わない」27名(3.5%)となっている。

X. 夜間・深夜(午後10時から午前5時にかかる時間帯)の勤務

【問34】あなたは、夜間・深夜勤務を行っていますか。

n=762

	回答数	構成比
1 行っている	242	31.8%
2 行っていない	494	64.8%
3 無回答	26	3.4%
合計	762	100.0%

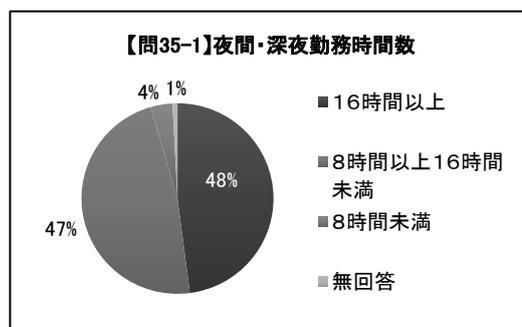


夜間・深夜勤務では、「行っている」が242名(31.8%)、「行っていない」が494名(64.8%)となっている。

【問35-1】(問34で、「1. 行っている」と回答した方)夜間・深夜勤務時間数を教えてください。

n=242

	回答数	構成比
1 16時間以上	116	47.9%
2 8時間以上16時間未満	115	47.5%
3 8時間未満	9	3.7%
4 無回答	2	0.8%
合計	242	100.0%

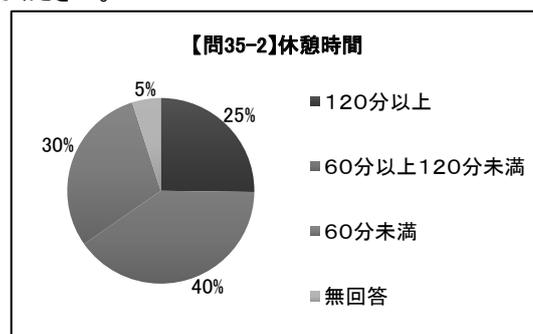


問34「夜勤あり」の勤務時間数では、「16時間以上」が116名(47.9%)と最も多く、次いで「8時間以上16時間未満」が115名(47.5%)、「8時間未満」は9名(3.7%)となっている。

【問35-2】(問34で、「1. 行っている」と回答した方)休憩時間を教えてください。

n=242

	回答数	構成比
1 120分以上	61	25.2%
2 60分以上120分未満	97	40.1%
3 60分未満	72	29.8%
4 無回答	12	5.0%
合計	242	100.0%

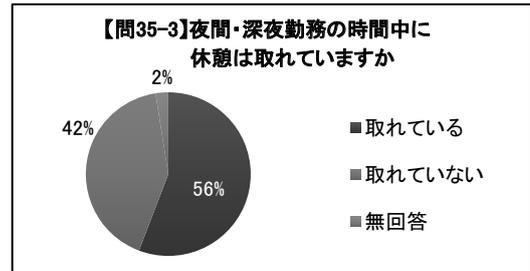


問34「夜勤あり」の場合の休憩時間では、「60分以上120分未満」が97名(40.1%)と最も多く、次いで「60分未満」が72名(29.8%)となっている。また「120分以上」は61名(25.2%)となっている。

【問35-3】(問34で、「1. 行っている」と回答した方)夜間・深夜勤務の時間中に休憩は取れていますか。

n=242		
	回答数	構成比
1 取れている	135	55.8%
2 取れていない	101	41.7%
3 無回答	6	2.5%
合計	242	100.0%

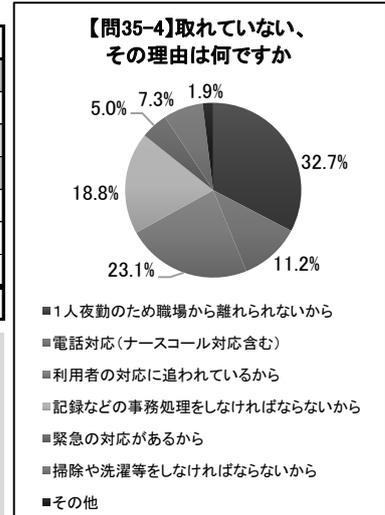
問34「夜勤あり」の場合の休憩時間では、「取れている」が135名(55.8%)、「取れていない」が101名(41.7%)となっている。



【問35-4】(問35-3で、「2. 取れていない」と回答した方)その理由は何ですか。(複数回答可)

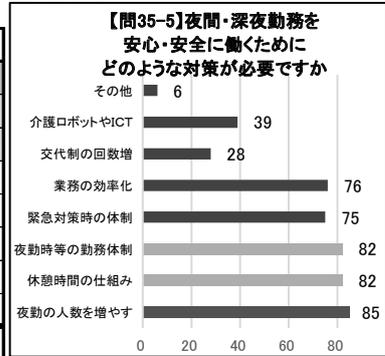
n=100(問35-3「2.取れていない」101件のうち、無回答1件を除く)		
	回答数	構成比
1 1人夜勤のため職場から離れられないから	85	32.7%
2 電話対応(ナースコール対応含む)をしなければならないから	29	11.2%
3 利用者の対応に追われているから	60	23.1%
4 記録などの事務処理をしなければならないから	49	18.8%
5 (終末期の利用者がいるなど)緊急の対応があるから	13	5.0%
6 掃除や洗濯等をしなければならないから	19	7.3%
7 その他	5	1.9%
合計	260	100.0%

問35-3で「休憩が取れていない」の理由(複数回答)では、「1人夜勤のため職場から離れられないから」が85名(32.7%)と最も多く、次いで「利用者の対応に追われているから」60名(23.1%)、3番目が「記録等事務処理をしないといけないから」49名(18.8%)の順となっている。その他、「電話対応(ナースコール)をしないとイケないから」29名(11.2%)、「掃除や洗濯等をしないとイケないから」19名(7.3%)の順で続いている。



【問35-5】夜間・深夜勤務を安心・安全に働くためにどのような対策が必要ですか。(複数回答可)

n=212(問34「1.行っている」242件のうち、無回答30件を除く)		
	回答数	構成比
1 夜勤の人数を増やす	85	18.0%
2 休憩時間がとりやすい仕組みを整える	82	17.3%
3 夜勤・深夜勤務時およびその翌日の勤務体制を整える	82	17.3%
4 緊急対策時の体制を整える	75	15.9%
5 無理、無駄、ムラをなくし、業務の効率化を図る	76	16.1%
6 交代制の回数を増やす(2交代制から3交代制に変える等)	28	5.9%
7 介護ロボットやICTなどを活用する	39	8.2%
8 その他	6	1.3%
合計	473	100.0%



夜間・深夜勤務を安全・安心に働くための対策(複数回答)では、「夜勤の人数を増やす」が85名(18.0%)と最も多く、次いで「休憩時間がとりやすい仕組みを整える」と「夜勤及び翌日の勤務体制を整える」が同値で82名(17.3%)、3番目が「無理、無駄、ムラをなくし、業務の効率化を図る」76名(16.1%)となっている。4番目以下は、「緊急対策時の体制を整える」75名(15.9%)、「介護ロボットやICT等の活用」39名(8.2%)の順で続いている。

**XI. ひとつ前に勤めていた法人(勤務先)に入職された時のこと、離職されたときのこと
(現在の勤務先に至る前まで)についてお尋ねします。**

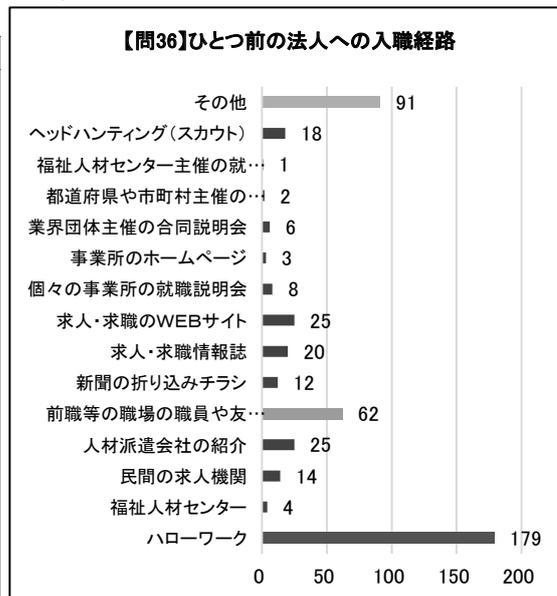
別法人から現在の法人に離職された方のみお答えください。

→該当しない方(法人内の異動のみ・離転職の経験がない)は「問41」以降について回答してください。

【問36】ひとつ前の法人への入職経路を教えてください。(主なもの1つ)

n=470(553件のうち、無回答83件を除く)

	回答数	構成比
1 ハローワーク	179	38.1%
2 福祉人材センター	4	0.9%
3 民間の求人機関	14	3.0%
4 人材派遣会社の紹介	25	5.3%
5 前職等の職場の職員や友人の紹介	62	13.2%
6 新聞の折り込みチラシ	12	2.6%
7 求人・求職情報誌	20	4.3%
8 求人・求職のWEBサイト	25	5.3%
9 個々の事業所の就職説明会	8	1.7%
10 事業所のホームページ	3	0.6%
11 業界団体主催の合同説明会	6	1.3%
12 都道府県や市町村主催の説明会	2	0.4%
13 福祉人材センター主催の就職フェア	1	0.2%
14 ヘッドハンティング(スカウト)	18	3.8%
15 その他	91	19.4%
合計	470	100.0%



<その他>

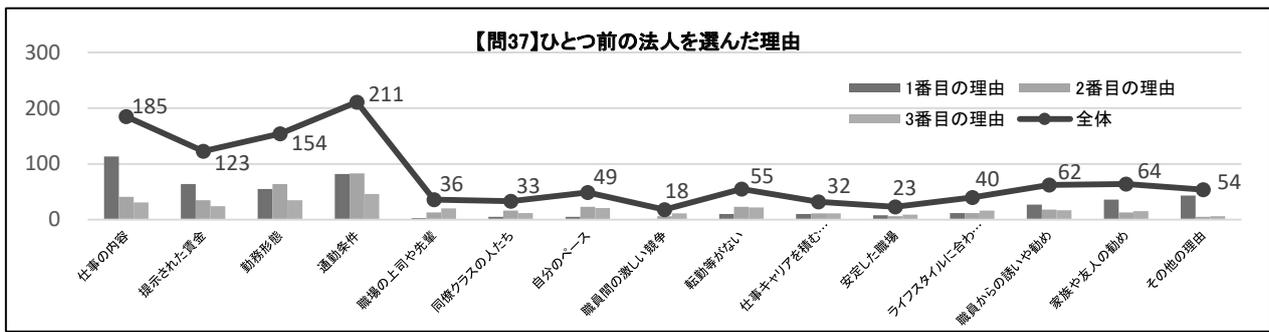
学校からの紹介、学校にきた求人	11件	自営	3件	家庭の事情	1件
管理者が知り合い、親族	4件	知人・友人の紹介	3件	家の近くに新しくできたので	1件
アルバイト・ボランティア先	4件	実習先	2件		

ひとつ前の法人への入職経路では、「ハローワーク」が179名(38.1%)と最も多く、次いで「その他」が91名(19.4%)、3番目が「前職等の職場の職員・友人の紹介」62名(13.2%)となっている。4番目以下では、「求人・求職WEBサイト」と「人材派遣会社の紹介」が同値で25名(5.3%)、「求人・求職情報誌」20名(4.3%)、「ヘッドハンティング(スカウト)」18名(3.8%)の順で続いている。また、「その他」91名(19.4%)の内容では、学校(大学・高校等)からの紹介、友人・知人・親族のすすめ・紹介、アルバイトや実習からそのまま入職等が多くなっている。

【問37】ひとつ前の法人を選んだ理由について、当てはまる数字をご記入ください。(主なもの3つまで)

n=474(553件のうち、無回答79件を除く)

	全体		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 仕事の内容自体にやりがいを感じた	185	16.2%	113	23.8%	41	11.1%	31	10.5%
2 提示された賃金が良かった	123	10.8%	64	13.5%	35	9.5%	24	8.1%
3 勤務形態が良かった	154	13.5%	55	11.6%	64	17.3%	35	11.8%
4 通勤条件が良かった	211	18.5%	82	17.3%	83	22.5%	46	15.5%
5 職場の上司や先輩から学べる人が多いと感じた	36	3.2%	3	0.6%	13	3.5%	20	6.8%
6 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた	33	2.9%	5	1.1%	16	4.3%	12	4.1%
7 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた	49	4.3%	5	1.1%	23	6.2%	21	7.1%
8 職員間の激しい競争がなく楽だと思った	18	1.6%	1	0.2%	6	1.6%	11	3.7%
9 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた	55	4.8%	10	2.1%	23	6.2%	22	7.4%
10 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積む機会があると感じた	32	2.8%	10	2.1%	11	3.0%	11	3.7%
11 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った	23	2.0%	8	1.7%	6	1.6%	9	3.0%
12 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた	40	3.5%	12	2.5%	12	3.3%	16	5.4%
13 その事業所で働く職員からの誘いや勧め	62	5.4%	27	5.7%	18	4.9%	17	5.7%
14 家族や友人の勧め	64	5.6%	36	7.6%	13	3.5%	15	5.1%
15 その他の理由	54	4.7%	43	9.1%	5	1.4%	6	2.0%
合計	1,139	100.0%	474	100.0%	369	100.0%	296	100.0%



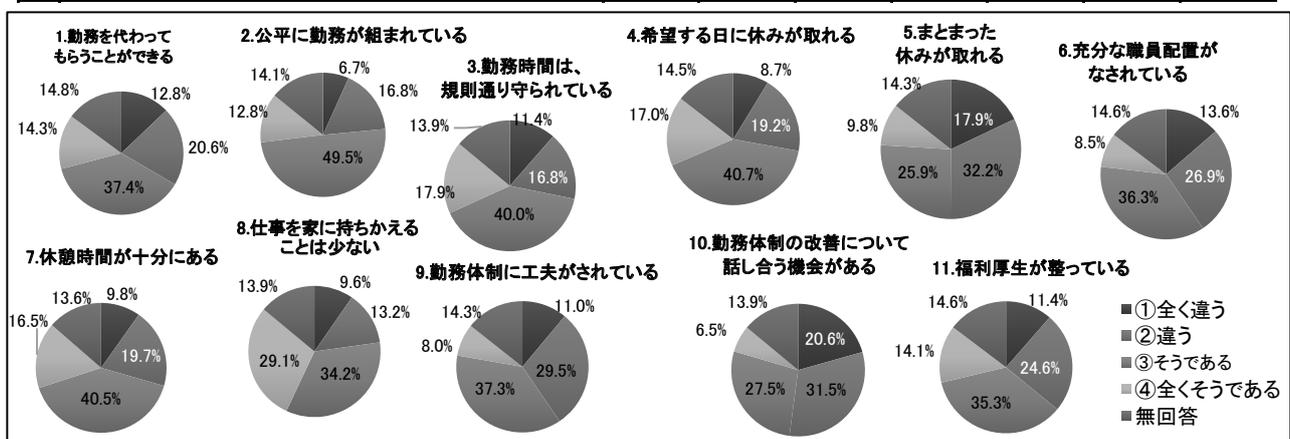
ひとつ前の法人を選んだ理由(全体)では、「通勤条件がよかった」が211名(18.5%)と最も多く、次いで「仕事内容自体にやりがいを感じた」が185名(16.2%)、3番目が「勤務形態が良かった」154名(13.5%)となっている。4番目以下では、「提示された賃金が良かった」123名(10.8%)、「家族や友人の勧め」64名(5.6%)、「その事業所で働く職員からの誘い・勧め」62名(5.4%)の順で続いている。

また、「1番目の理由」の内訳をみると、「仕事内容自体のやりがいを感じた」が113名(23.8%)、次いで「通勤条件が良かった」82名(17.3%)、3番目が「提示された賃金が良かった」64名(13.5%)となっている。

【問38】ひとつ前の法人の組織面について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全く違う ②違う ③そうである ④全くそうである

		①	②	③	④	無回答	合計
1 勤務を代わってもらえることができる	回答数	71	114	207	79	82	553
	構成比	12.8%	20.6%	37.4%	14.3%	14.8%	100.0%
2 公平に勤務が組まれている	回答数	37	93	274	71	78	553
	構成比	6.7%	16.8%	49.5%	12.8%	14.1%	100.0%
3 勤務時間は、規則通り守られている	回答数	63	93	221	99	77	553
	構成比	11.4%	16.8%	40.0%	17.9%	13.9%	100.0%
4 希望する日に休みが取れる	回答数	48	106	225	94	80	553
	構成比	8.7%	19.2%	40.7%	17.0%	14.5%	100.0%
5 リフレッシュするため、まとまった休みが取れる	回答数	99	178	143	54	79	553
	構成比	17.9%	32.2%	25.9%	9.8%	14.3%	100.0%
6 十分な職員配置がなされている	回答数	75	149	201	47	81	553
	構成比	13.6%	26.9%	36.3%	8.5%	14.6%	100.0%
7 休憩時間が十分にある	回答数	54	109	224	91	75	553
	構成比	9.8%	19.7%	40.5%	16.5%	13.6%	100.0%
8 仕事を家に持ちかえることは少ない	回答数	53	73	189	161	77	553
	構成比	9.6%	13.2%	34.2%	29.1%	13.9%	100.0%
9 働きやすいように、勤務体制に工夫がされている	回答数	61	163	206	44	79	553
	構成比	11.0%	29.5%	37.3%	8.0%	14.3%	100.0%
10 勤務体制の改善について話し合う機会がある	回答数	114	174	152	36	77	553
	構成比	20.6%	31.5%	27.5%	6.5%	13.9%	100.0%
11 福利厚生が整っている	回答数	63	136	195	78	81	553
	構成比	11.4%	24.6%	35.3%	14.1%	14.6%	100.0%



ひとつ前の法人の組織面について、「1勤務を代わってもらえることができる」では、「そうである」が207名(37.4%)と最も多く、次いで「違う」114名(20.6%)、3番目が「全くそうである」79名(14.5%)となっている。また、「全く違う」は71名(12.8%)となっている。

「2公平に勤務が組まれている」では、「そうである」が274名(49.5%)と最も多く、次いで「違う」93名(16.8%)、3番目が「全くそうである」71名(12.8%)となっている。また、「全く違う」は37名(6.7%)となっている。

「3勤務時間は規則通り守られている」では、「そうである」が221名(40.0%)と最も多く、次いで「全くそうである」99名(17.9%)、3番目が「違う」93名(16.8%)となっている。また、「全く違う」は63名(11.4%)となっている。

「4希望する日に休みが取れる」では、「そうである」が225名(40.7%)と最も多く、次いで「違う」106名(19.2%)、3番目が「全くそうである」94名(17.0%)となっている。また、「全く違う」は48名(8.7%)となっている。

「5リフレッシュでまとまった休みが取れる」では、「違う」が178名(32.2%)と最も多く、次いで「そうである」が143名(25.9%)、3番目が「全く違う」99名(17.9%)、4番目が「全くそうである」54名(9.8%)の順となっている。

「6十分な職員配置がなされている」では、「そうである」が201名(36.3%)と最も多く、次いで「違う」149名(26.9%)、3番目が「全く違う」75名(13.6%)、4番目「全くそうである」47名(8.5%)となっている。

「7休憩時間が十分にある」では、「そうである」が224名(40.5%)と最も多く、次いで「違う」が109名(19.7%)、3番目が「全くそうである」91名(16.5%)、4番目「全く違う」54名(9.8%)となっている。

「8仕事を家に持ち帰ることは少ない」では、「そうである」が189名(34.2%)と最も多く、次いで「全くそうである」が161名(29.1%)となっており、両方で6割以上を占めている。また、「違う」73名(13.2%)、「全く違う」53名(9.6%)となっている。

「9働きやすいように勤務体制に工夫がされている」では、「そうである」が206名(37.3%)と最も多く、次いで「違う」が163名(29.5%)、3番目が「全く違う」61名(11.0%)の順となっている。

「10勤務体制の改善について話し合う機会がある」では、「違う」が174名(31.5%)と最も多く、次いで「そうである」が152名(27.5%)、3番目が「全く違う」114名(20.6%)、4番目「全くそうである」36名(6.5%)の順となっている。

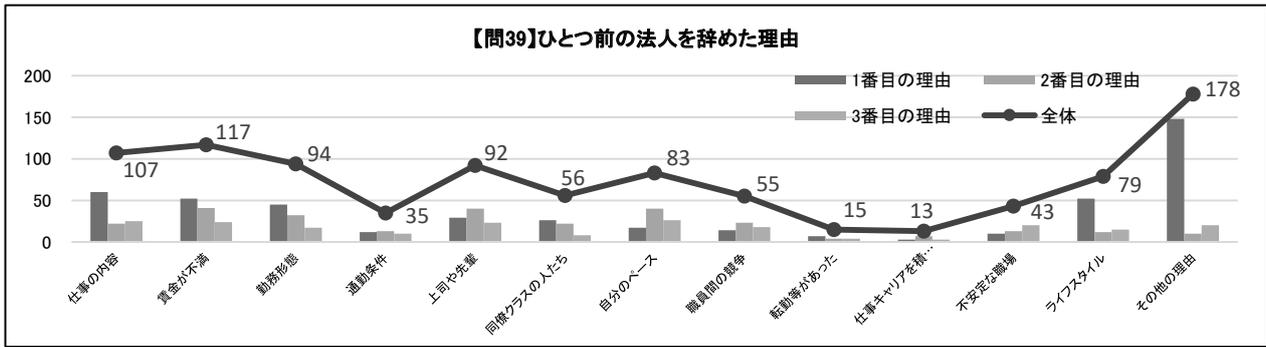
「11福利厚生が整っている」では、「そうである」が195名(35.3%)と最も多く、次いで「違う」が136名(24.6%)、3番目が「全くそうである」78名(14.1%)、「全く違う」63名(11.4%)の順となっている。

【問39】ひとつ前の法人を辞めた理由についてうかがいます。(主なもの3つまで)

n=475(553件のうち、無回答78件を除く)		全体		1番目の理由		2番目の理由		3番目の理由	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	仕事の内容自体にやりがいを感じなかった	107	11.1%	60	12.6%	22	7.9%	25	11.7%
2	賃金に不満があった	117	12.1%	52	10.9%	41	14.7%	24	11.3%
3	勤務形態が合わなかった	94	9.7%	45	9.5%	32	11.5%	17	8.0%
4	通勤条件が合わなかった	35	3.6%	12	2.5%	13	4.7%	10	4.7%
5	職場の上司や先輩から学べることが少なかった	92	9.5%	29	6.1%	40	14.3%	23	10.8%
6	同僚クラスの人たちとうまくやっていけなかった	56	5.8%	26	5.5%	22	7.9%	8	3.8%
7	落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった	83	8.6%	17	3.6%	40	14.3%	26	12.2%
8	職員間の激しい競争があり苦痛だった	55	5.7%	14	2.9%	23	8.2%	18	8.5%
9	転勤等があり自分の地元で働き続けることができなかった	15	1.6%	7	1.5%	4	1.4%	4	1.9%
10	多様な職種や事業所がなく、いろいろな仕事キャリアを積む機会がなかった	13	1.3%	3	0.6%	7	2.5%	3	1.4%
11	法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模が不安定な職場だった	43	4.4%	10	2.1%	13	4.7%	20	9.4%
12	結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができなかった	79	8.2%	52	10.9%	12	4.3%	15	7.0%
13	その他の理由	178	18.4%	148	31.2%	10	3.6%	20	9.4%
合計		967	100.0%	475	100.0%	279	100.0%	213	100.0%

<その他>

倒産・閉鎖関連	24件	定年退職	3件
健康・体調不良(病気・ケガ)	23件	人手不足	3件
会社・上司への不満、パワハラ	15件	サービス残業、持ち帰り仕事が多かった	3件
他の仕事・以前からやりたかった仕事に就くため	12件	資格が取れたため	3件
転居(家族の転勤、離婚、親の介護等)	10件	ヘッドハンティング、紹介	3件
家庭の事情(ライフスタイルの変化、孫の世話等)	6件	起業、自営	2件
結婚・出産	5件	人間関係	2件
移転、異動を断れない	4件	コロナの影響(離職率が上がった、行動制限された)	2件
リストラ関連	3件		



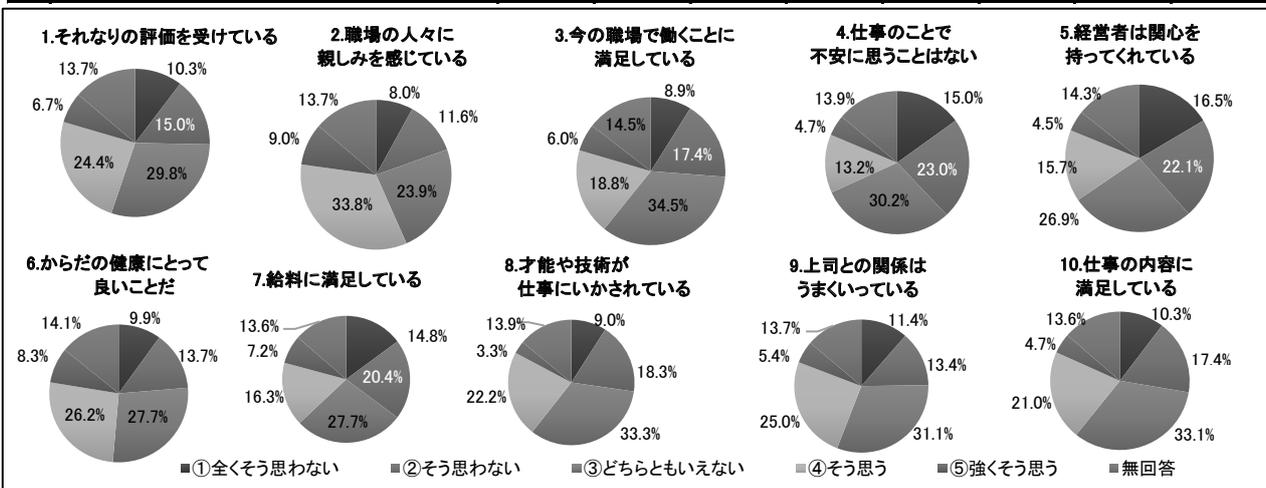
ひとつ前の法人を辞めた理由(全体)では、「その他の理由」が178名(18.4%)と最も多く、次いで「賃金に不満があった」117名(12.1%)、3番目が「仕事内容にやりがいを感じなかった」107名(11.1%)となっている。4番目以下では、「勤務形態が合わなかった」94名(9.7%)、「職場の上司・先輩から学ぶことが少なかった」92名(9.5%)、「自分のペースで仕事ができない職場だった」83名(8.6%)、「結婚、出産・育児、親族の介護等、ライフスタイルに合わせた働き方ができなかった」79名(8.2%)の順で続いている。最も多い「その他の理由」178名(18.4%)の内容(記述回答)では、事業所廃業・倒産・閉鎖やリストラ関連、健康・体調不良、家庭や自己都合関連の回答が多く見られている。

また、「1番目の理由」の内訳をみると、「その他の理由」が148名(31.2%)と最も多く、次いで「仕事にやりがいを感じなかった」60名(10.8%)、「賃金に不満があった」と「結婚、出産・育児、親族の介護等、ライフスタイルに合わせた働き方ができなかった」が同値で52名(9.4%)の順となっている。

【問40】ひとつ前の法人での様子について、最も当てはまる番号を教えてください。

①全くそう思わない ②そう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤強くそう思う

			①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	回答数	57	83	165	135	37	76	553
		構成比	10.3%	15.0%	29.8%	24.4%	6.7%	13.7%	100.0%
2	職場の人々に親しみを感じている	回答数	44	64	132	187	50	76	553
		構成比	8.0%	11.6%	23.9%	33.8%	9.0%	13.7%	100.0%
3	今の職場で働くことに満足している	回答数	49	96	191	104	33	80	553
		構成比	8.9%	17.4%	34.5%	18.8%	6.0%	14.5%	100.0%
4	仕事のことで不安に思うことはない	回答数	83	127	167	73	26	77	553
		構成比	15.0%	23.0%	30.2%	13.2%	4.7%	13.9%	100.0%
5	経営者は自分のことに関心を持っていると思う	回答数	91	122	149	87	25	79	553
		構成比	16.5%	22.1%	26.9%	15.7%	4.5%	14.3%	100.0%
6	仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思う	回答数	55	76	153	145	46	78	553
		構成比	9.9%	13.7%	27.7%	26.2%	8.3%	14.1%	100.0%
7	給料に満足している	回答数	82	113	153	90	40	75	553
		構成比	14.8%	20.4%	27.7%	16.3%	7.2%	13.6%	100.0%
8	自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	回答数	50	101	184	123	18	77	553
		構成比	9.0%	18.3%	33.3%	22.2%	3.3%	13.9%	100.0%
9	上司との関係はうまくいっている	回答数	63	74	172	138	30	76	553
		構成比	11.4%	13.4%	31.1%	25.0%	5.4%	13.7%	100.0%
10	仕事の内容に満足している	回答数	57	96	183	116	26	75	553
		構成比	10.3%	17.4%	33.1%	21.0%	4.7%	13.6%	100.0%



ひとつ前の法人での様子について、「1仕事を出来た時に評価を受けている」では、「どちらともいえない」が165名(29.8%)と最も多く、次いで「そう思う」135名(24.4%)、3番目が「そう思わない」83名(15.0%)の順となっている。また、「全くそう思わない」は57名(10.3%)となっている。

「2職場の人々に親しみを感じている」では、「そう思う」が187名(33.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」が132名(23.9%)、3番目が「そう思わない」64名(11.6%)となっている。また、「全くそう思わない」は44名(8.0%)となっている。

「3今の職場で働くことに満足している」では、「どちらともいえない」が191名(34.5%)と最も多く、次いで「そう思う」が104名(18.8%)、3番目が「そう思わない」96名(17.4%)の順となっている。また、「全くそう思わない」は49名(8.9%)となっている。

「4仕事のことで不安はない」では、「どちらともいえない」が167名(30.2%)と最も多く、次いで「そう思わない」127名(23.0%)、3番目が「全くそう思わない」83名(15.0%)となっている。また「強くそう思う」は26名(4.7%)となっている。

「5経営者は自分に興味を持っていてくれると思う」では、「どちらともいえない」が149名(26.9%)と最も多く、次いで「そう思わない」が122名(22.1%)、3番目が「全くそう思わない」が91名(16.5%)となっている。また、「そう思う」は87名(15.7%)、「強くそう思う」25名(4.5%)となっている。

「6仕事することは健康にとってよいと思うか」では、「どちらともいえない」が153名(27.7%)と最も多く、次いで「そう思う」が145名(26.2%)、3番目が「そう思わない」76名(13.7%)となっている。

「7給料に満足している」では、「どちらともいえない」が153名(27.7%)と最も多く、次いで「そう思わない」が113名(20.4%)、3番目が「そう思う」90名(16.3%)となっている。また、「全くそう思わない」は82名(14.8%)、「強くそう思う」は40名(7.2%)となっている。

「8自分の才能・技術が仕事にいかされている」では、「どちらともいえない」が184名(33.3%)、次いで「そう思う」123名(22.2%)、3番目が「そう思わない」101名(18.3%)となっている。また、「全くそう思わない」は50名(9.0%)、「強くそう思う」は18名(3.3%)となっている。

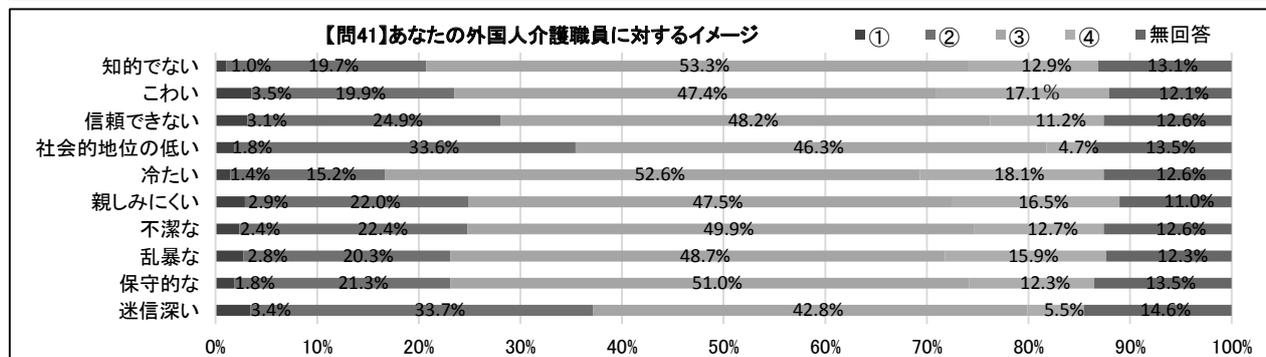
「9上司との関係はうまくいっている」では、「どちらともいえない」が172名(31.1%)、次いで「そう思う」が138名(25.0%)、3番目が「そう思わない」74名(13.4%)となっている。また、「全くそう思わない」は63名(11.4%)、「強くそう思う」は30名(5.4%)となっている。

「10仕事の内容に満足している」では、「どちらともいえない」が183名(33.1%)、次いで「そう思う」が116名(21.0%)、3番目が「そう思わない」96名(17.4%)となっている。また「全くそう思わない」は57名(10.3%)、「強くそう思う」26名(4.7%)となっている。

X. 外国人介護職員との協働

【問41】あなたの外国人介護職員に対するイメージについて、行ごとに、最も当てはまる番号を教えてください。

		①	②	③	④	無回答	合計		
1	迷信深い	回答数	26	257	326	42	111	762	科学的な
		構成比	3.4%	33.7%	42.8%	5.5%	14.6%	100.0%	
2	保守的な	回答数	14	162	389	94	103	762	進歩的な
		構成比	1.8%	21.3%	51.0%	12.3%	13.5%	100.0%	
3	乱暴な	回答数	21	155	371	121	94	762	丁寧な
		構成比	2.8%	20.3%	48.7%	15.9%	12.3%	100.0%	
4	不潔な	回答数	18	171	380	97	96	762	清潔な
		構成比	2.4%	22.4%	49.9%	12.7%	12.6%	100.0%	
5	親しみにくい	回答数	22	168	362	126	84	762	親しみやすい
		構成比	2.9%	22.0%	47.5%	16.5%	11.0%	100.0%	
6	冷たい	回答数	11	116	401	138	96	762	温かい
		構成比	1.4%	15.2%	52.6%	18.1%	12.6%	100.0%	
7	社会的地位の低い	回答数	14	256	353	36	103	762	社会的地位の高い
		構成比	1.8%	33.6%	46.3%	4.7%	13.5%	100.0%	
8	信頼できない	回答数	24	190	367	85	96	762	信頼できる
		構成比	3.1%	24.9%	48.2%	11.2%	12.6%	100.0%	
9	こわい	回答数	27	152	361	130	92	762	やさしい
		構成比	3.5%	19.9%	47.4%	17.1%	12.1%	100.0%	
10	知的でない	回答数	8	150	406	98	100	762	知的な
		構成比	1.0%	19.7%	53.3%	12.9%	13.1%	100.0%	



外国人介護職員に対するイメージについて、「1迷信深い～4科学的な」のイメージでは、「3」が326名(42.8%)と最も多く、次いで「2」が257名(33.7%)、3番目「4」42名(5.5%)となっている。

「2保守的な～4進歩的な」のイメージでは、「3」が389名(51.0%)と最も多く、次いで「2」162名(21.3%)、3番目「4」94名(12.3%)となっている。

「3乱暴な～4丁寧な」のイメージでは、「3」が371名(48.7%)と最も多く、次いで「2」155名(20.3%)、3番目「4」121名(15.9%)となっている。

「4不潔な～4清潔な」のイメージでは、「3」が380名(49.9%)と最も多く、次いで「2」171名(22.4%)、3番目「4」97名(12.7%)となっている。

「5親しみにくい～4親しみやすい」のイメージでは、「3」が362名(47.5%)と最も多く、次いで「2」168名(22.0%)、3番目「4」126名(16.5%)となっている。

「6冷たい～4温かい」のイメージでは、「3」が401名(52.6%)と最も多く、次いで「4」138名(18.1%)、3番目「2」116名(15.2%)となっている。

「7社会的地位低い～4社会的地位高い」のイメージでは、「3」が353名(46.3%)と最も多く、次いで「2」256名(33.6%)、3番目「4」36名(4.7%)となっている。

「8信頼できない～4信頼できる」のイメージでは、「3」が367名(48.2%)と最も多く、次いで「2」190名(24.9%)、3番目「4」85名(11.2%)となっている。

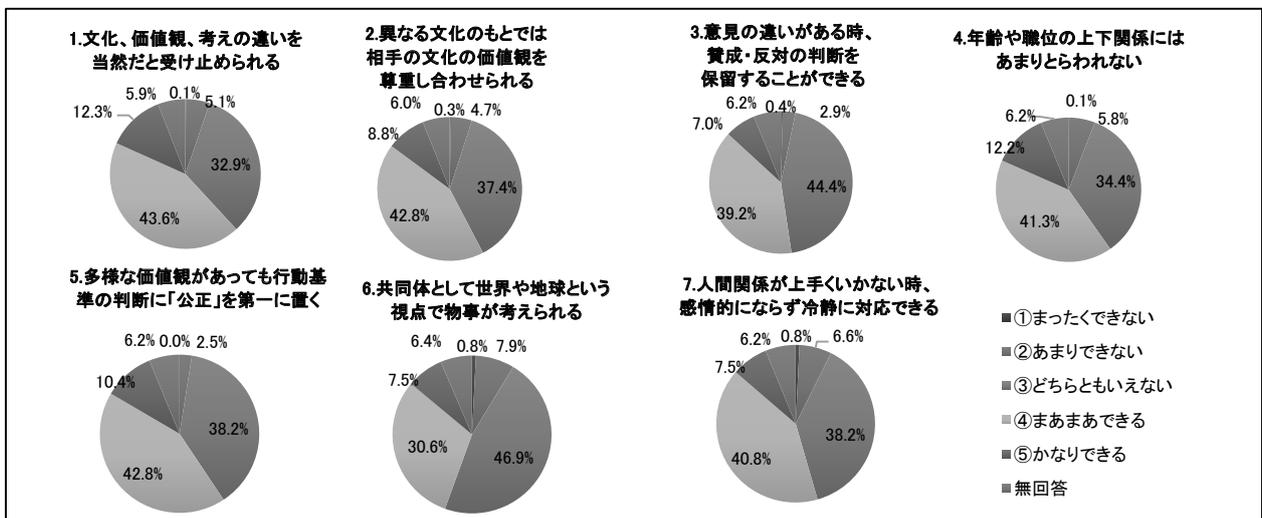
「9こわい～4やさしい」のイメージでは、「3」が361名(47.4%)と最も多く、次いで「2」152名(19.9%)、3番目「4」130名(17.1%)となっている。

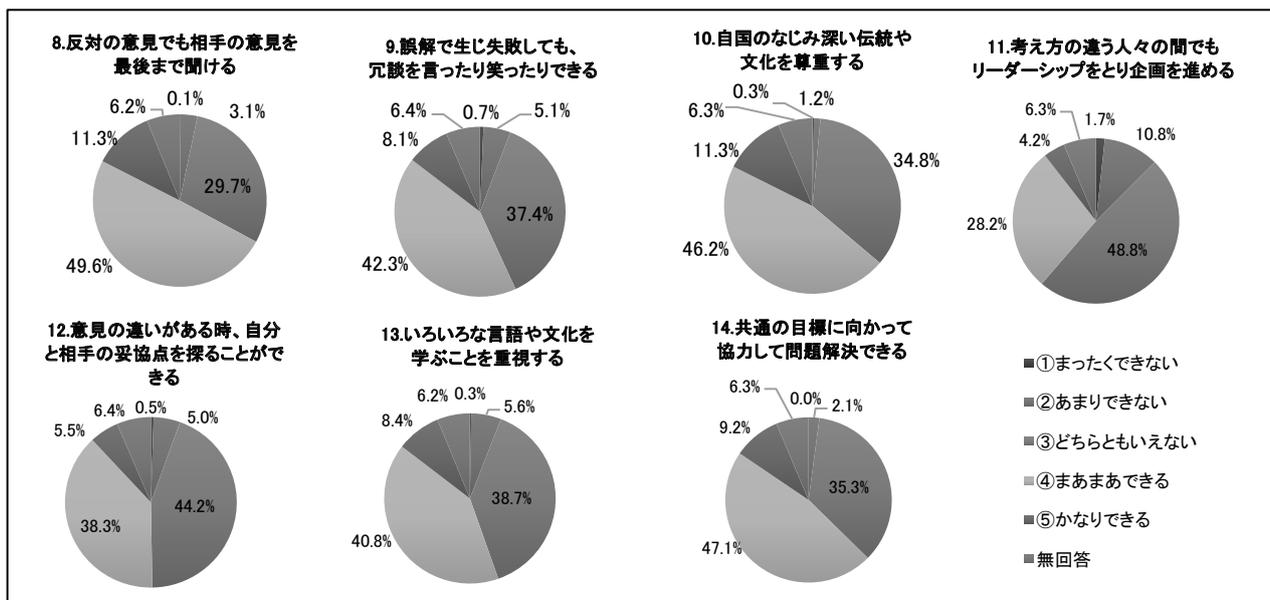
「10知的でない～4知的な」のイメージでは、「3」が406名(53.3%)と最も多く、次いで「2」150名(19.7%)、3番目「4」98名(12.9%)となっている。

【問42】今のあなたが様々な国の人と一緒に仕事をするとしたら、どのように対処したいと思いますか。

①まったくできない ②あまりできない ③どちらともいえない ④まあまあできる ⑤かなりできる

		①	②	③	④	⑤	無回答	合計
1	文化、価値観、考えの違いを当然だと受け止められる	回答数 1	39	251	332	94	45	762
	構成比	0.1%	5.1%	32.9%	43.6%	12.3%	5.9%	100.0%
2	異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる	回答数 2	36	285	326	67	46	762
	構成比	0.3%	4.7%	37.4%	42.8%	8.8%	6.0%	100.0%
3	意見の違いがある時、賛成・反対の判断を保留することができる	回答数 3	22	338	299	53	47	762
	構成比	0.4%	2.9%	44.4%	39.2%	7.0%	6.2%	100.0%
4	年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない	回答数 1	44	262	315	93	47	762
	構成比	0.1%	5.8%	34.4%	41.3%	12.2%	6.2%	100.0%
5	多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く	回答数 0	19	291	326	79	47	762
	構成比	0.0%	2.5%	38.2%	42.8%	10.4%	6.2%	100.0%
6	共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる	回答数 6	60	357	233	57	49	762
	構成比	0.8%	7.9%	46.9%	30.6%	7.5%	6.4%	100.0%
7	人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる	回答数 6	50	291	311	57	47	762
	構成比	0.8%	6.6%	38.2%	40.8%	7.5%	6.2%	100.0%
8	反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける	回答数 1	24	226	378	86	47	762
	構成比	0.1%	3.1%	29.7%	49.6%	11.3%	6.2%	100.0%
9	誤解で生じ失敗しても、冗談を言ったり笑ったりできる	回答数 5	39	285	322	62	49	762
	構成比	0.7%	5.1%	37.4%	42.3%	8.1%	6.4%	100.0%
10	自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する	回答数 2	9	265	352	86	48	762
	構成比	0.3%	1.2%	34.8%	46.2%	11.3%	6.3%	100.0%
11	考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める	回答数 13	82	372	215	32	48	762
	構成比	1.7%	10.8%	48.8%	28.2%	4.2%	6.3%	100.0%
12	意見の違いがある時、自分と相手の妥協点を探ることができる	回答数 4	38	337	292	42	49	762
	構成比	0.5%	5.0%	44.2%	38.3%	5.5%	6.4%	100.0%
13	いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する	回答数 2	43	295	311	64	47	762
	構成比	0.3%	5.6%	38.7%	40.8%	8.4%	6.2%	100.0%
14	共通の目標に向かって協力して問題解決できる	回答数 0	16	269	359	70	48	762
	構成比	0.0%	2.1%	35.3%	47.1%	9.2%	6.3%	100.0%





様々な国の人と一緒に仕事をすると、どう対処すると思うかについて、「1文化、価値観等の違いを当然と受け止める」では、「まあまあできる」が332名(43.6%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」251名(32.9%)、3番目が「かなりできる」94名(12.3%)の順となっている。

「2異なる文化において相手の文化・価値観を尊重し合わせられる」では、「まあまあできる」が326名(42.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」285名(37.4%)、3番目が「かなりできる」67名(8.8%)の順となっている。

「3意見の違いで賛成・反対の判断を保留できる」では、「どちらともいえない」が338名(44.4%)と最も多く、次いで「まあまあできる」299名(39.2%)、3番目が「かなりできる」53名(7.0%)の順となっている。

「4年齢・順位の上下関係にはとらわれない」では、「まあまあできる」が315名(41.3%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」262名(34.4%)、3番目が「かなりできる」93名(12.2%)の順となっている。

「5多様な価値観があっても行動基準に「公正」を第一に置く」では、「まあまあできる」が326名(42.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」291名(38.2%)、3番目が「かなりできる」79名(10.4%)の順となっている。

「6共同体として世界・地球の観点で物事が考えられる」では、「どちらともいえない」が357名(46.9%)と最も多く、次いで「まあまあできる」233名(30.6%)、3番目が「あまりできない」60名(7.9%)の順となっている。

「7人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる」では、「まあまあできる」が311名(40.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」291名(38.2%)、3番目が「かなりできる」57名(7.5%)の順となっている。

「8反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける」では、「まあまあできる」が378名(49.6%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」226名(29.7%)、3番目が「かなりできる」86名(11.3%)の順となっている。

「9誤解が生じ失敗しても、冗談や笑ったりできる」では、「まあまあできる」が322名(42.3%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」285名(37.4%)、3番目が「かなりできる」62名(8.1%)の順となっている。

「10自国の深い伝統・文化を尊重する」では、「まあまあできる」が352名(46.2%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」265名(34.8%)、3番目が「かなりできる」86名(11.3%)の順となっている。

「11考え方の違う人々の間でもリーダーシップで企画を進める」では、「どちらともいえない」が372名(48.8%)と最も多く、次いで「まあまあできる」215名(28.2%)、3番目が「あまりできない」82名(10.8%)の順となっている。

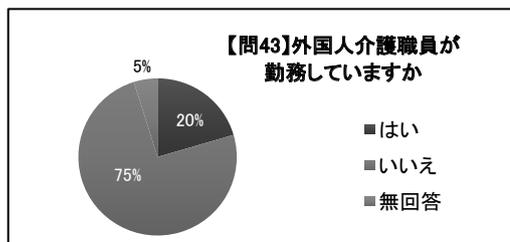
「12意見の違いがある時、相手との妥協点を探ることができる」では、「どちらともいえない」が337名(44.2%)と最も多く、次いで「まあまあできる」292名(38.3%)、3番目が「かなりできる」42名(5.5%)の順となっている。

「13いろいろな言語・文化を学ぶことを尊重する」では、「まあまあできる」が311名(40.8%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」295名(38.7%)、3番目が「かなりできる」64名(8.4%)の順となっている。

「14共通目標に向い協力して問題解決できる」では、「まあまあできる」が359名(47.1%)と最も多く、次いで「どちらともいえない」269名(35.3%)、3番目が「かなりできる」70名(9.2%)の順となっている。

【問43】あなたの勤務先では外国人介護職員が勤務していますか。

n=762		回答数	構成比
1	はい	156	20.5%
2	いいえ	569	74.7%
3	無回答	37	4.9%
合計		762	100.0%

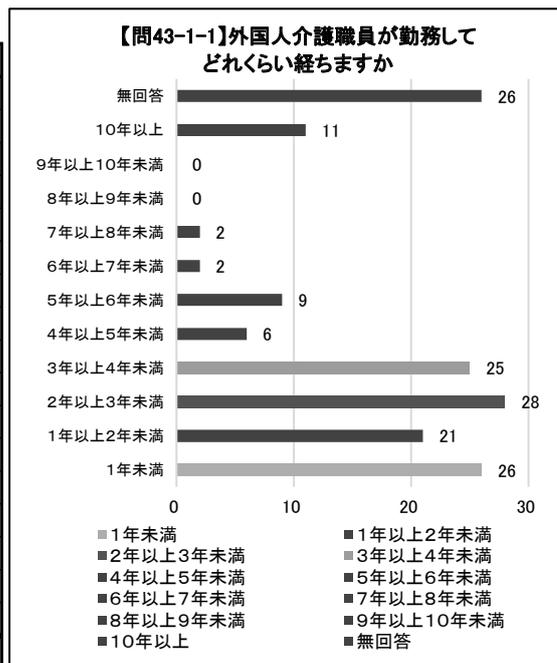


勤務先で外国人介護職員が勤務しているかでは、「はい」が156名(20.5%)、「いいえ」が569名(74.7%)となっている。無回答:37名(4.9%)となっている。

【問43-1-1】(問43で、「1. はい」と回答した方)外国人介護職員が勤務してどれくらい経ちますか。
お分かりの範囲内で教えてください。

n=156

	回答数	構成比
1年未満	26	16.7%
1年以上2年未満	21	13.5%
2年以上3年未満	28	17.9%
3年以上4年未満	25	16.0%
4年以上5年未満	6	3.8%
5年以上6年未満	9	5.8%
6年以上7年未満	2	1.3%
7年以上8年未満	2	1.3%
8年以上9年未満	0	0.0%
9年以上10年未満	0	0.0%
10年以上11年未満	7	4.5%
11年以上12年未満	1	0.6%
12年以上13年未満	0	0.0%
13年以上14年未満	1	0.6%
14年以上15年未満	1	0.6%
15年以上16年未満	1	0.6%
無回答	26	16.7%
合計	156	100.0%

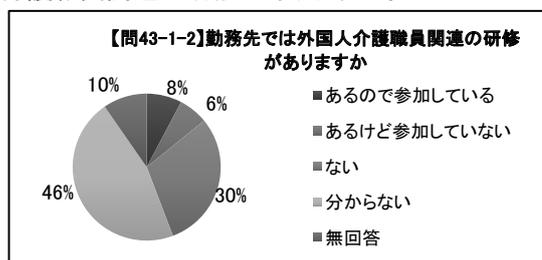


問43「はい」の回答者について、外国人介護職員が勤務してどれくらい経つか(わかる範囲)では、「2年以上3年未満」が28名(17.9%)と最も多く、次いで「1年未満」が26名(16.7%)、3番目が「3年以上4年未満」25名(16.0%)となっている。4番目以下では、「1年以上2年未満」21名(13.5%)、「5年以上6年未満」9名(5.8%)、「10年以上11年未満」7名(4.5%)の順で続いている。また、全体で10年以上の回答では、計11名(7.1%)で、最も長い勤務期間は、「15年以上16年未満」で1名(0.6%)となっている。

【問43-1-2】(問43で、「1. はい」と回答した方)勤務先では外国人介護職員関連の研修がありますか。

n=156

	回答数	構成比
1 あるので参加している	12	7.7%
2 あるけど参加していない	10	6.4%
3 ない	47	30.1%
4 分からない	72	46.2%
5 無回答	15	9.6%
合計	156	100.0%



問43「はい」の回答者について、外国人介護職員関連の研修があるかでは、「分からない」が72名(46.2%)と最も多く、次いで「ない」47名(30.1%)、3番目が「あるので参加している」12名(7.7%)となっている。また「あるけど参加していない」は、10名(6.4%)となっている。

【問43-1-2-1】(問43-1-2で、「1. あるので参加している」と回答した方)参加した研修および役に立つと思う研修すべて教えてください。(複数回答可)

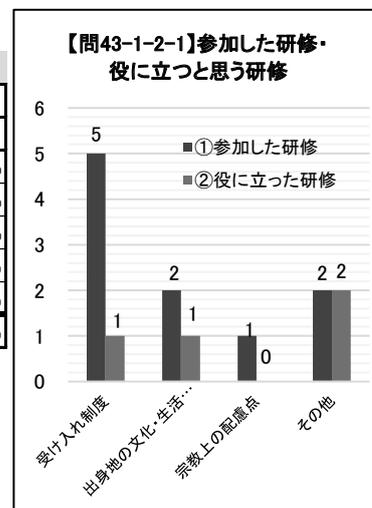
	①n= 12		②n= 12	
	①参加した研修	②役に立った研修	①参加した研修	②役に立った研修
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 外国人介護職員の受け入れ制度	5	35.7%	1	8.3%
2 外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣	2	14.3%	1	8.3%
3 外国人介護職員の宗教上の配慮点	1	7.1%	0	0.0%
4 その他	2	14.3%	2	16.7%
5 無回答	4	28.6%	8	66.7%
合計	14	100.0%	12	100.0%

<①参加した研修、具体的に>

コミュニケーションのとり方、他の事業所での体験談
業務内容や対応の仕方

<②役に立ったと思う研修、具体的に>

コミュニケーションのとり方、他の事業所での体験談
技能実習指導者・責任者研修



【問43-1-2-2】(問43-1-2で、「1. あるので参加している」と回答した方)

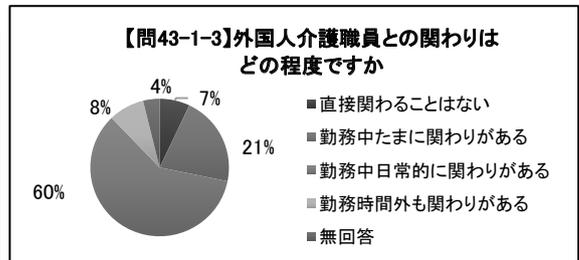
問43-1-2-1のほかに、外国人介護職員と一緒に仕事をする上で必要だと思う研修内容がありましたら、教えてください。(自由記述)

日本語研修、特に介護に特化した日本語研修

外国人介護職員と仕事をする上で必要な研修(自由記述)の内容では、日本語研修、特に介護に特化した日本語研修等となっている。

【問43-1-3】(問43で、「1. はい」と回答した方)外国人介護職員との関わりはどの程度ですか。

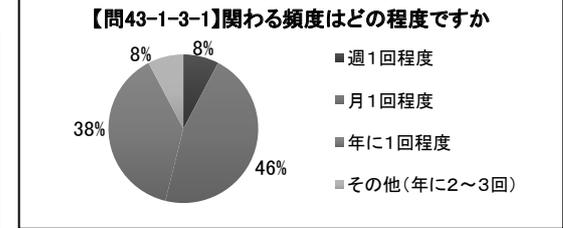
n=156		回答数	構成比
1	直接関わることはない	11	7.1%
2	勤務中たまに関わりがある	33	21.2%
3	勤務中日常的に関わりがある	93	59.6%
4	勤務時間外も関わりがある	13	8.3%
5	無回答	6	3.8%
合計		156	100.0%



問43「はい」の回答者について、外国人介護職員との関わりはどの程度かでは、「勤務中日常的に関わりがある」が93名(59.6%)と最も多く、次いで「勤務中たまに関わりがある」33名(21.2%)、3番目が「勤務時間外も関わりがある」は13名(8.3%)となっている。また、「直接関わることはない」は11名(7.1%)となっている。

【問43-1-3-1】(問43-1-3で、「4. 勤務時間外も関わりがある」と回答した方)関わる頻度はどの程度ですか。

n=13		回答数	構成比
1	週1回程度	1	7.7%
2	月1回程度	6	46.2%
3	年に1回程度	5	38.5%
4	その他(年に2~3回)	1	7.7%
合計		13	100.0%



「4. 勤務時間外も関わりがある」(問43-1-3)の回答者について、関わる頻度は、「月1回程度」が6名(46.2%)と最も多く、次いで「年に1回程度」5名(38.5%)、3番目が「週1回程度」と「その他(年に2~3回)」が同値で1名(7.7%)となっている。

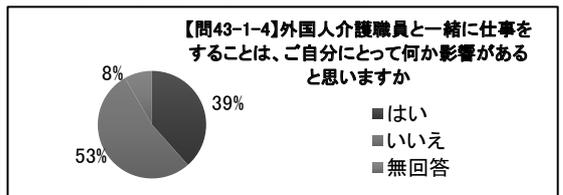
【問43-1-3-2】(問43-1-3で、「4. 勤務時間外も関わりがある」と回答した方)関わりの内容は具体的にどのようなものですか。(自由記述)

食事会	5件	遊び	1件
食事、遊び	2件	食事、趣味、会話、買い物	1件
歓迎会、食事会	1件	忘年会や新年会	1件
歓迎会	1件	困り事への協力	1件

「4. 勤務時間外も関わりがある」の回答者について、具体的な関わりの内容では、食事会がもっとも多く、遊びや買い物、歓迎会等と多様な関わりとなっている。

【問43-1-4】外国人介護職員と一緒に仕事することは、ご自分にとって何か影響があると思いますか？

n=156		回答数	構成比
1	はい	60	38.5%
2	いいえ	83	53.2%
3	無回答	13	8.3%
合計		156	100.0%



問43「はい」の回答者について、外国人介護職員と一緒に仕事することでの自身への影響については、「いいえ(影響がない)」が83名(53.2%)と最も多く、次いで「はい(影響がある)」が60名(38.5%)となっている。

【問43-1-4-1】(問43-1-4で、「1. はい」と回答した方)それは、具体的にどのようなものですか、教えてください。

※54件の回答あり

<回答の抜粋>

いろいろな文化の違いに触れることができ、知らない国の生活や考えなどを自国にしながら知ることができる。
教える事によって自分が学べる。一緒に仕事をする事によって、お互いを理解しようとするので勉強になります。
外国人介護職員の方は、職員、利用者に対し丁寧な対応をされる。また、常に前向きで努力させる姿を見て、自分も学ばせて頂いていることが日々、多々あります。
指導するにあたって基本的なことの見直しができたり、専門用語や言いまわしを別の分かり易い言葉に変換することができ、ご家族への説明の際に役立ちそう。
文化が異なる中ででの利用者への接し方は勉強になる場面も多々あります
英語が話せるためコミュニケーションを取りやすい。レポート等の日本語訳を頼まれることがある。
その人の国の文化や考えなど違う視点での話しができる
コミュニケーションによる伝え方の難しさから仕事への負担が日本人より大きくなる。
日本語が上手く伝わらず、指導が難しい。ご家族さまの対応が難しい方が多く、日本人が対応するようになっている。

傾向

外国人介護職員と働くことで、自身にとって成長や学びになると回答した方が過半数だった。外国人介護職員の頑張る姿が介護職のモチベーションの向上に繋がっている傾向が多かった。また、文化交流を通じて外国人の新たな視点から仕事を考える機会になるとの意見があった。